

消 防 年 報

平 成 19 年 版



第3回リアス四季フォトコンテスト

最優秀賞「白銀の海」

足 利 裕 紀 氏 (仙台市)

撮影場所 気仙沼市唐桑町 中の浜

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

(平成 20 年刊行)

は し が き

この年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成 19 年中の警防、予防、救急業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解頂ければ幸いです。

平成 20 年 9 月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿 革	1
圏域管内図	11
位置及び管内情勢	12
組合組織図	13
庁舎・待機宿舎の位置	14
総 務	
予 算	
平成 20 年度当初歳入歳出予算	17・18
平成 20 年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	19
平成 20 年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	19
平成 19 年度（決算）構成市町負担金負担割合	19
決 算	
平成 19 年度歳入歳出決算	20・21
職 員	
職員配置状況	22
職員階級別勤続年数	23
職員階級別年齢	24
職員年齢構成図	25
学校等教育状況	26
職員特殊技能資格取得状況	27
予 防	
防 火 対 象 物	
消防法第 17 条対象物数	31
用途別消防用設備等の設置状況	32
用途別予防査察状況	33
用途別中高層建築物の現況	34
防火管理者を要する対象物	35
建築同意事務	36
危 険 物	
危険物施設	37
危険物施設の予防査察実施状況	38
危険物事務処理件数	39
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	40

防火管理者協会結成状況	40
幼年消防クラブ結成状況	41
少年消防クラブ結成状況	41
婦人防火クラブ結成状況	41
警 防	
消 防 車 両	
消防車両等の配置状況	45
消防車両等の配置現況	46
消防力の整備指針と現有	
消防本部・署所の人員	47
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	48・49
消 防 水 利	
管内水利状況	50
通 信	
通信施設の現況	53
消防テレホンサービス利用状況	53
119番受信件数	54・55
通 信 系 統 図	56
気 象	
気 象 統 計	57
気象情報等受信統計	58
管内消防団	
組 織 機 構 図	61・62
組 織	63
階級別消防団員数	63
年齢別消防団員数	63
在職年数別消防団員数	64
消防団員報酬	64
消防施設の現況	64
火災・救急統計	
火 災 統 計	
火災件数及び損害額の推移	67
火災発生状況（市町別）	68
〃（覚知別）	69
〃（月 別）	70・71
月別火災発生状況	72
曜日別火災発生状況	73

時間別火災発生状況	73
原因別火災発生状況・損害額	74
建物用途別火災発生状況（火元）	75
救 急 統 計	
救急活動の推移	76
月別事故別活動状況	77
市町別事故別活動状況	78
市町別出場件数	79
救急隊員が行った応急処置件数	80
事故種別出場件数	80
月別出場件数	81
時間別出場件数	81
曜日別搬送人員	82
傷病程度別搬送人員	83
年齢別搬送人員	84
医療機関別搬送人員	85
不搬送等状況・診療科目別搬送人員・転送回数別搬送人員・覚知別出場件数	86
普通救命講習受講者状況	86
防災センター	
防災センターの概要	89
月・地域別利用状況	90
月・曜日別利用状況	91
利用者別状況	92
主 な 備 蓄 品	92

沿革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定受ける。
8月 2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月 1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
〃	初代消防長に加藤留七氏就任。
〃	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人を任用、18 人新規採用。(消防職員定数 155 人)
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定(郡内 5 町)を受ける。
8月 4日	消防職員 16 人を採用。
12月 1日	広域消防の業務開始。(1 本部、2 消防署、1 分署、4 出張所)
12月 4日	消防職員 15 人を採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月 7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。(石巻、塩釜、登米、大崎の各広域消防本部)
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車 1 台配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。(岩手県両磐地区、陸前高田市の各消防本部)
3月25日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月 2日	消防職員 21 人を採用。
4月24日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定(郡内 5 町)を受ける。
7月19日	干害対策本部を設置。
8月 2日	消防職員 14 人を採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車 1 台を配置。
10月 1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月 2日	消防職員(船舶職員) 3 人を採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。(昭和 12 年建設、昭和 60 年撤去)
4月 4日	消防職員 10 人を採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
〃	消防艇「あさぎり」配置。

昭和49年 7月30日	第1回消防職員技術大会実施。(以後毎年実施)
12月 5日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。
6月 2日	消防職員 1 人を採用。
6月10日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員 1 人を採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第2代消防長に村上栄氏就任。
11月13日	「第8 なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命捜索救助活動を行う。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人を派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊を結成。(隊員 25 人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署と志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車を更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員 3 人を採用。
4月 3日	消防本部と志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第7回全国消防救助技術大会(千葉市)において水中検索の部に高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部指令車を更新配置。
4月26日	昭和 54 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田束山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モーターズから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。

昭和54年12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を更新配置。
〃	気仙沼消防署に屈折梯子車を配置。
昭和55年 5月29日	第3回全国消防職員意見発表大会（東京都）において錦部照夫消防士長最優秀賞を受賞。
6月1日	志津川町、歌津町及び津山町の消防職員待機宿舎完成。
6月10日	消防本部に査察車を更新配置。
8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月1日	昭和55年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車を配置。
10月1日	第3代消防長に畠山誠氏就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会結成。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年 1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月1日	消防職員4人を採用。
6月4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。（1市5町）
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車を更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年 2月25日	唐桑町の消防職員待機宿舎完成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車を更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を配置。
4月1日	第4代消防長に川合昭伍氏就任。
〃	消防職員3人を採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第11 豊洋号」（ブンヤン号）においてアンモニアガス噴出事故発生。死者8人、負傷者6人。 この救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、(財)宮城県消防協会長から「功労章」、(財)日本消防協会長から「現場功労章」、宮城県知事から「顕彰状」、消防庁長官から「功績章」が授与され、内閣総理大臣から当消防本部に対して昭和58年度「防災功労章」が授与された。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第25回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
8月24日	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月9日	「救急の日」制定。
12月1日	気仙沼消防署に照明電源車を配置。
昭和58年 1月30日	志津川消防署に救急自動車を更新配置。

昭和58年 3月 9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。
3月30日	本吉町の消防職員待機宿舎落成。
6月 2日	第6回全国消防職員意見発表大会(京都府)において芳賀保宏消防士優秀賞を受賞。
昭和59年 3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月 1日	消防職員 3人を採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。
12月 4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年 2月 8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
2月15日	異常気象(厳冬による消防水利確保困難)のため「火災警報」を発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
4月 1日	消防職員 3人を採用。
6月 1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月 1日	消防衛生管理規程を制定。
8月19日	異常渇水のため消防対策本部を設置。(9月2日まで継続)
8月23日	第14回全国消防救助技術大会(広島市)において伊藤大志消防士「ロープ登はんの部」で入賞。
8月26日	(財)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 8日	第32回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月25日	産業医(猪苗代勇医師)を嘱託。
11月27日	第1回「火災予防キャンペーン」実施。(以後毎年実施)
12月18日	国道45号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。(以後隔年実施)
昭和61年 1月 6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月 8日	「消防表彰式」を創設。(以後毎年実施)
3月10日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防職員 2人を採用。
8月 5日	台風10号くずれの低気圧により宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェアー」を開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車を更新配置。
〃	広域組合消防計画書を策定。
昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」を発令。
5月15日	異常渇水のため消防対策本部を設置。
5月28日	第10回全国消防職員意見発表大会(横浜市)において佐藤武敏消防士長優秀賞受賞。
8月 1日	広域組合消防安全管理規程を制定。
8月12日	第30回宮城県消防操法大会を志津川町で開催。
9月 1日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。

昭和62年10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車を更新配置。
11月9日	「119番の日」制定。
11月17日	(株)アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立30周年記念式典の開催。
昭和63年4月1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。(計8人研修)
6月4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第17回全国消防救助技術大会(横浜市)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
10月7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。
平成元年1月29日	4週6休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市太田放牧地において実施。
8月8日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(8名研修)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成2年2月21日	広域組合の休日を定める条例を制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員2人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月1日	消防職員3人を採用。
4月26日	第13回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において森淳一消防士長優秀賞を受賞。
5月17日	第41回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
7月6日	第15回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
8月24日	第19回全国消防救助技術大会(広島市)において志津川消防署隊「ロープブリッジ救出の部」で入賞。
9月1日	9. 1宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成3年2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員1人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月1日	第5代消防長に若杉市郎氏就任。
〃	消防職員2人を採用。
〃	(財)日本消防協会へ1人を研修派遣。
8月28日	第20回全国消防救助技術大会(大阪府)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月1日	消防職員高齢化対策で職員1人を広域組合に研修派遣。
〃	宮城県防災航空隊に職員1名派遣。
12月9日	気仙沼消防署・本吉分署・志津川消防署・津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。

平成4年3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー仰転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊（第22普通科連隊）が災害復旧活動に従事。（4月14日対策本部解散） また、3月24日から3日間、広域消防相互応援協定に基づき、大崎広域消防本部・塩釜地区消防本部・両磐地区消防本部からのタンク車による応援を受けた。
3月31日	志津川消防署、気仙沼消防署本吉分署に指令車と査察車を更新配置。
〃	消防職員高齢化対策で職員4人退職。（4月1日付で広域組合・唐桑町・本吉町・津山町へ身分移管）
4月1日	消防職員4人を採用。
〃	宮城県広域航空消防応援協定締結。
8月28日	第21回全国消防救助技術大会（千葉市）において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月4日	（財）日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第8回全国婦人消防操法大会（横浜市）において津山町婦人消防隊が準優勝。
10月30日	「広域組合設立・広域消防発足20周年記念式典」を開催。浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成5年2月1日	4週8休実施。
2月8日	気仙沼三菱自動車販売㈱より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員1人退職。（4月1日付で志津川町へ身分移管）
4月1日	消防職員1人を採用。
〃	消防職員定数を187人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月1日	気仙沼消防署唐桑出張所に救急自動車（2B型）を配置。
10月26日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成。
平成6年1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月1日	消防本部・気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式（119番統合）。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付（全員併任発令）。
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員8人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月1日	消防職員7人を採用。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
5月25日	救急救命士国家試験（1人）合格。（以降毎年度養成）
8月12日	異常渇水による消防対策本部設置（8月22日まで）。

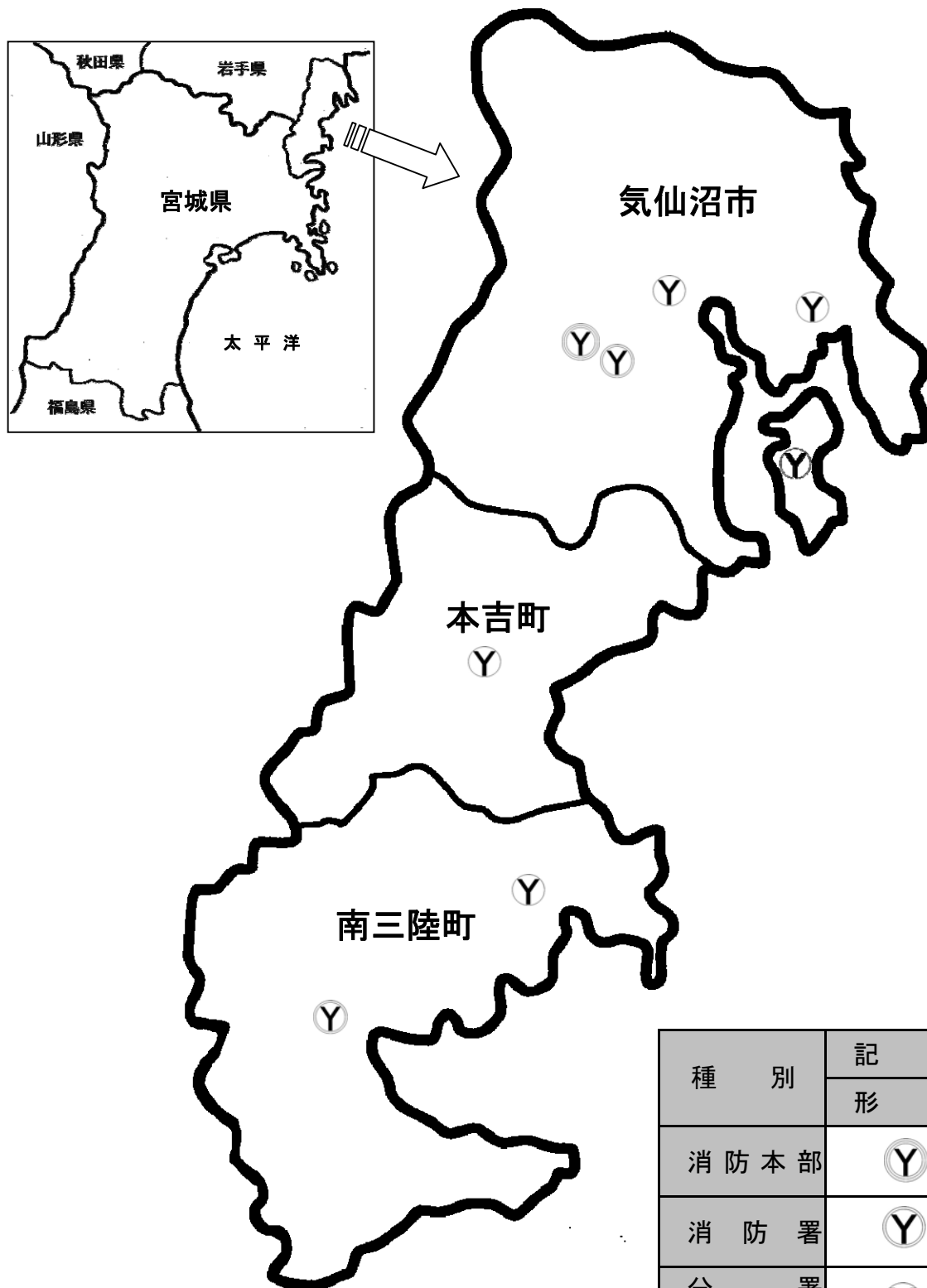
平成6年9月30日	財日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第50回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者10,000人達成。
平成7年3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月1日	消防本部に通信指令室を設け通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
〃	消防職員8人採用。
4月25日	救急救命士国家試験（2人）合格。
5月9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者149人。
7月14日	広域防災センター入館者20,000人達成。
8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第24回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署「引揚救助の部」で入賞。
12月1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
平成8年4月1日	第6代消防長に熊谷昭一氏就任。
〃	消防職員7人採用。
5月26日	広域防災センター入館者30,000人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
12月11日	第1回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第1回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加。（仙台市 20日まで）
平成9年1月8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月3日	気仙沼消防署待機宿舍移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者40,000人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月1日	第7代消防長に藤原博氏就任。
〃	消防職員6人採用。
〃	給与振込開始。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車を更新、多機能型広報車を配置。
平成10年2月8日	広域防災センター入館者50,000人達成。
3月1日	自動車電話・携帯電話119番受付業務を開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置。
4月1日	消防職員6人採用。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
12月7日	広域防災センター入館者60,000人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2B型）配置。
平成11年1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD-II型）配置。
4月1日	消防職員5人採用。

平成11年 4月 1日	消防職員定数を 197 人に改正。
5月13日	第 59 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年 2月 1日	年間訓練計画に基づく水難救助訓練を開始。
3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航（19t）。
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
〃	権限移譲事務の開始。（煙火消費の許可事務、建設用びょう打ち銃用空砲許可事務、液化石油ガスの設備工事に関する事務）
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
7月 7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
7月25日	第 41 回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
平成13年 3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24 時間運航開始。
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い、地震・津波対策検討委員会の設置。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署、本吉分署、志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急車配置。
平成14年 4月 1日	第 8 代消防長に菊田清一氏就任。
〃	消防職員 5 名採用。
4月17日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
5月 8日	広域防災センター入館 90,000 人達成。
10月 1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留業務開始。
10月 9日	組合設立及び広域消防発足 30 周年記念式典。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A 型）配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A 型）配置。
平成15年 2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
3月11日	気仙沼地域メディカルコントロール協議会を設立。
3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月23日	救急救命士国家試験（2 人）合格。
5月14日	広域防災センター入館 100,000 人達成。

平成15年 5月26日	三陸南地震。管内で震度 5 強を観測。
7月26日	宮城県北部連続地震。 7月 28 日から 2 日間、延べ人員 6 名を鹿島台町に派遣し、タンク車による応援活動を行った。 この応援活動に対し、消防庁長官から当消防本部に「功労章」が授与された。
8月26日	宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が、宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管された。
10月23日	第 68 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（BD－I 型）配置。
12月 8 日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
平成16年 4月 1 日	消防職員 3 人採用。
9月 1 日	平成 16 年度 9. 1 宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
〃	緊急通報 F A X 受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館 110, 000 人達成。
平成17年 2月23日	当消防本部初の「気管挿管認定」救急救命士誕生。
3月31日	登米市（4 月 1 日）への身分移管に伴う職員 10 名退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月 1 日	津山町が組合を脱退し、1 市 4 町で組合再編
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練を実施。
8月16日	8. 16 宮城県沖地震。管内で震度 5 弱を観測。
10月 1 日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1 市 3 町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
12月 2 日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急車配置。
平成18年 2月 8 日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
2月13日	広域防災センター入館 120, 000 人達成。
3月 1 日	谷村明信氏から潜水用資機材 7 式の寄贈を受けた。
3月 3 日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3月31日	気仙沼市・唐桑町が合併し「気仙沼市」となり、1 市 2 町で組合再編。
4月 1 日	消防職員 8 人採用。
9月24日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP 製）から火災が発生し、約 1 2 時間にわたる消火活動が行われた。
10月 6 日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、当消防本部が優勝。
10月17日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。
11月 1 日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1 台の寄贈を受け、防災センターに配置。

平成18年12月26日	気仙沼消防署に水難救助車を配置。
平成19年1月24日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
3月28日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4月1日	第9代消防長に菅原武人氏就任。
〃	消防職員7人採用。当広域管内初の女性消防士誕生。
5月23日	平成19年度大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）が気仙沼市をメイン会場に行われた。
7月12日	広域防災センター入館130,000人達成。
平成20年4月1日	第10代消防長に齋藤一善氏就任。
〃	消防職員4名採用。
4月27日	救急救命士国家試験（3人）合格。現在30名。
6月14日	平成20年岩手・宮城内陸地震（8時43分発生）。 震源地……岩手県内陸南部 震源の深さ……8km 地震の規模……M7.2 計測震度…震度4（気仙沼市・本吉町・南三陸町） 宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、6月15日から6月23日まで9日間、延べ人員63名を栗原市に派遣した。
7月24日	岩手県沿岸北部を震源とする地震（0時26分発生）。 震源地……岩手県沿岸北部 震源の深さ……108km 地震の規模……M6.8 計測震度…震度5強（気仙沼市唐桑町）震度5弱（気仙沼市・南三陸町） 震度4（本吉町）

圏域管内図



種 別	記 号
	形 状
消 防 本 部	Ⓨ
消 防 署	Ⓨ
分 出 張 署 所	Ⓨ

位置及び管内情勢

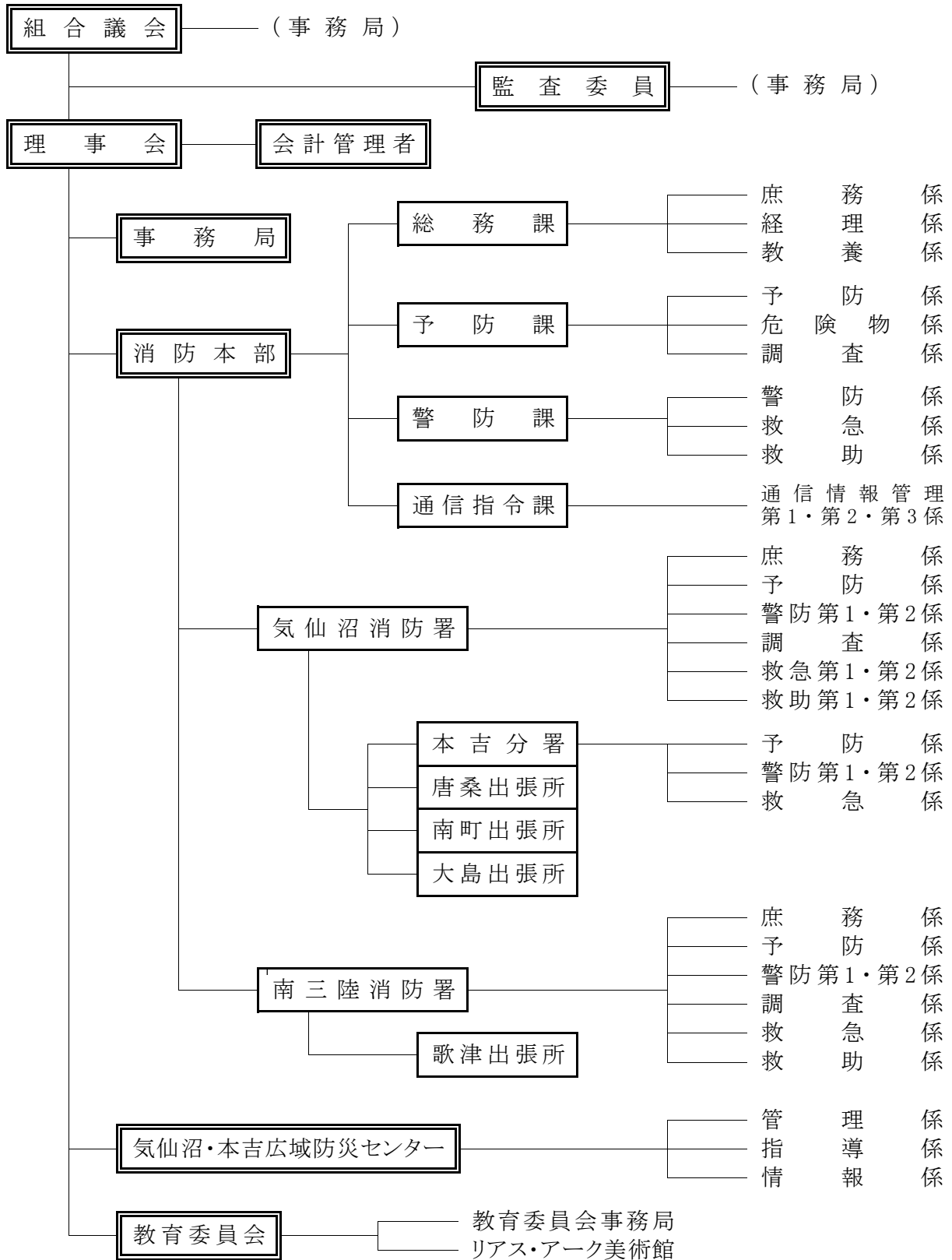
気仙沼・本吉地域は、気仙沼市・本吉町・南三陸町の1市2町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、陸中海岸国立公園、南三陸金華山国定公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(平成20年4月1日現在)

市 町 名	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	226.67	23,059	65,225
本 吉 町	106.70	3,500	11,456
南 三 陸 町	163.74	5,344	18,285
合 計	497.11	31,903	94,966

組合組織図

(平成20年4月1日現在)



庁 舎 位 置

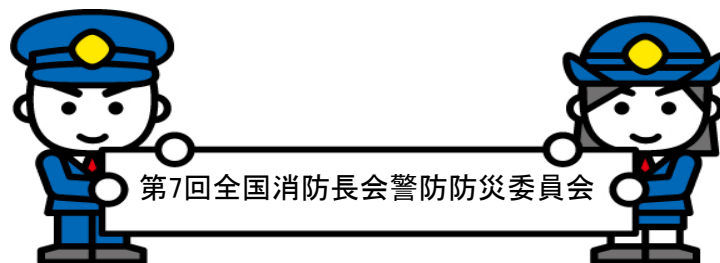
(平成20年4月1日現在)

本 部 ・ 署 所	所 在 地	敷地面積(㎡)	構 造	面 積(㎡)	竣 工
消 防 本 部 気 仙 沼 消 防 署 防 災 セ ン タ ー	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43-2	6,255.0	鉄筋コンクリート 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気 仙 沼 消 防 署 南 町 出 張 所	〒988-0017 気仙沼市南町4丁目1-9	591.8	鉄筋コンクリート 一部鉄骨3階建	建279.63 延814.43	昭35.6 昭51.5増
気 仙 沼 消 防 署 大 島 出 張 所	〒988-0604 気仙沼市廻館113-1	429.4	軽量鉄骨造一部 木造1階建	建162.2 延162.2	昭54.3 平14.10増
気 仙 沼 消 防 署 唐 桑 出 張 所	〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場183-4	693.0	鉄筋コンクリート 1階建	建223.1 延223.1	昭48.1
気 仙 沼 消 防 署 本 吉 分 署	〒988-0309 本吉郡本吉町津谷松尾1-1	700.8	鉄筋コンクリート 2階建	建208.25 延314.50	昭48.1
南 三 陸 消 防 署	〒986-0768 本吉郡南三陸町志津川 字御前下59-2	2,904.0	鉄筋コンクリート 2階建	建192.00 延384.00	昭47.12
南 三 陸 消 防 署 歌 津 出 張 所	〒988-0453 本吉郡南三陸町歌津 字伊里前233-3	1,132.7	鉄 骨 2 階 建	建479.39 延679.39	平12.3

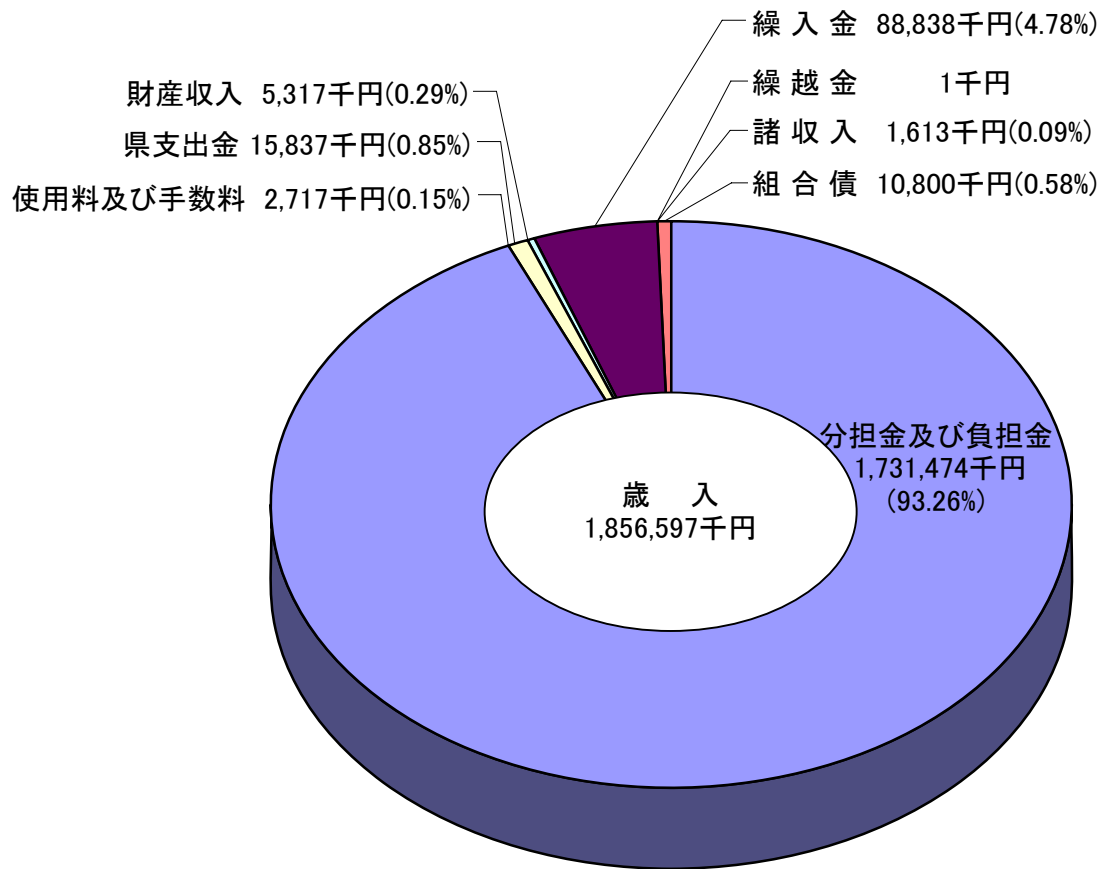
待 機 宿 舎 位 置

(平成20年4月1日現在)

所 在 地	室 数	構 造	面 積(㎡)	竣 工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44-114	単身用4室	木 造 1 階 建	115.93	平9.3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189-1	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	99.84	昭57.2
〒988-0309 本吉郡本吉町津谷松尾68-9	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	100.00	昭58.3
〒986-0776 本吉郡南三陸町志津川 字竹川原47-4	世帯用6室	鉄 骨 耐 火 構 造 2 階 建	297.61	昭55.3
〒988-0455 本吉郡南三陸町歌津 字吉野沢61-162	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	99.84	昭53.3



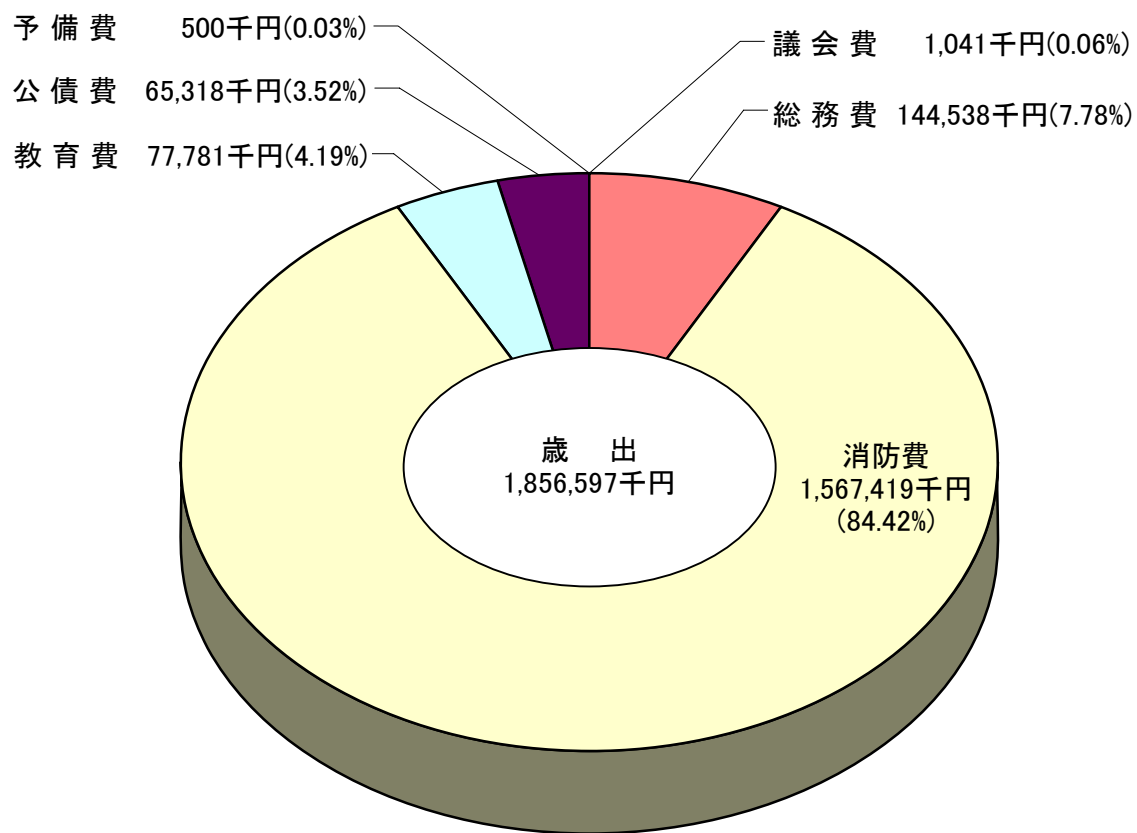
平成20年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	平成20年度予算額	平成19年度当初予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,731,474	1,802,962	△ 71,488
使 用 料 及 び 手 数 料	2,717	3,296	△ 579
県 支 出 金	15,837	15,222	615
財 産 収 入	5,317	1,931	3,386
繰 入 金	88,838	36,456	52,382
繰 越 金	1	1	0
諸 収 入	1,613	1,495	118
組 合 債	10,800	0	10,800
合 計	1,856,597	1,861,363	△ 4,766

平成20年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	平成20年度予算額	平成19年度当初予算額	比 較
議 会 費	1,041	1,046	△ 5
総 務 費	144,538	88,677	55,861
消 防 費	1,567,419	1,641,787	△ 74,368
教 育 費	77,781	75,905	1,876
公 債 費	65,318	53,448	11,870
予 備 費	500	500	0
合 計	1,856,597	1,861,363	△ 4,766

平成20年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		県 支 出 金	組 合 債	そ の 他	一 般 財 源
人 件 費	1,467,116	13,779		1,050	1,452,287
物 件 費	73,031	2,058		1,658	69,315
維 持 補 修 費	5,200			5,200	
補 助 費 等	10,302				10,302
普通建設事業費	12,270		10,800		1,470
公 債 費	65,318				65,318
合 計	1,633,237	15,837	10,800	7,908	1,598,692

平成20年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

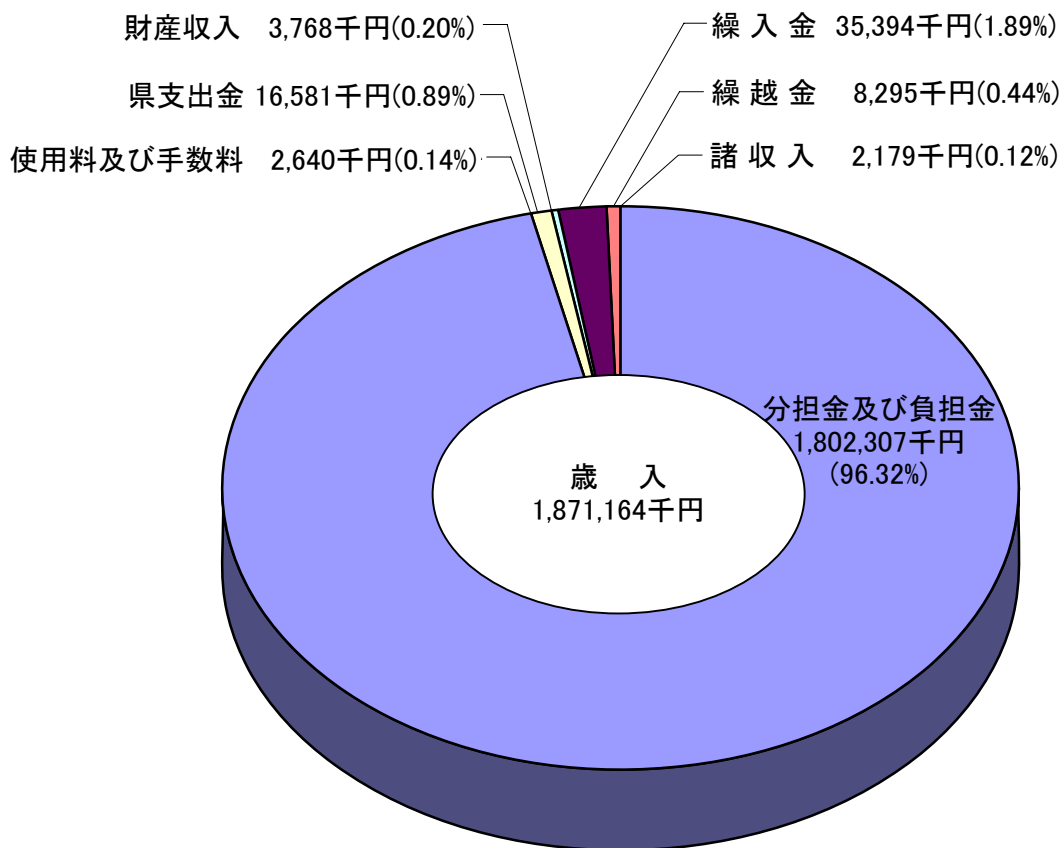
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	21,371,670	1,079,240	950,099	113,721	15,420	5.0
本 吉 町	4,663,000	275,989	241,649	22,889	11,451	5.9
南 三 陸 町	7,036,018	503,887	406,944	49,045	47,898	7.2
合 計	33,070,688	1,859,116	1,598,692	185,655	74,769	5.6

平成19年度(決算)構成市町負担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
旧 気 仙 沼 市	660,734	51.08	813,608	48.65
旧 唐 桑 町	134,768	10.42	180,359	10.78
本 吉 町	187,982	14.53	250,069	14.95
旧 志 津 川 町	209,391	16.19	282,283	16.88
旧 歌 津 町	100,559	7.78	146,148	8.74
合 計	1,293,434	100.00	1,672,467	100.00

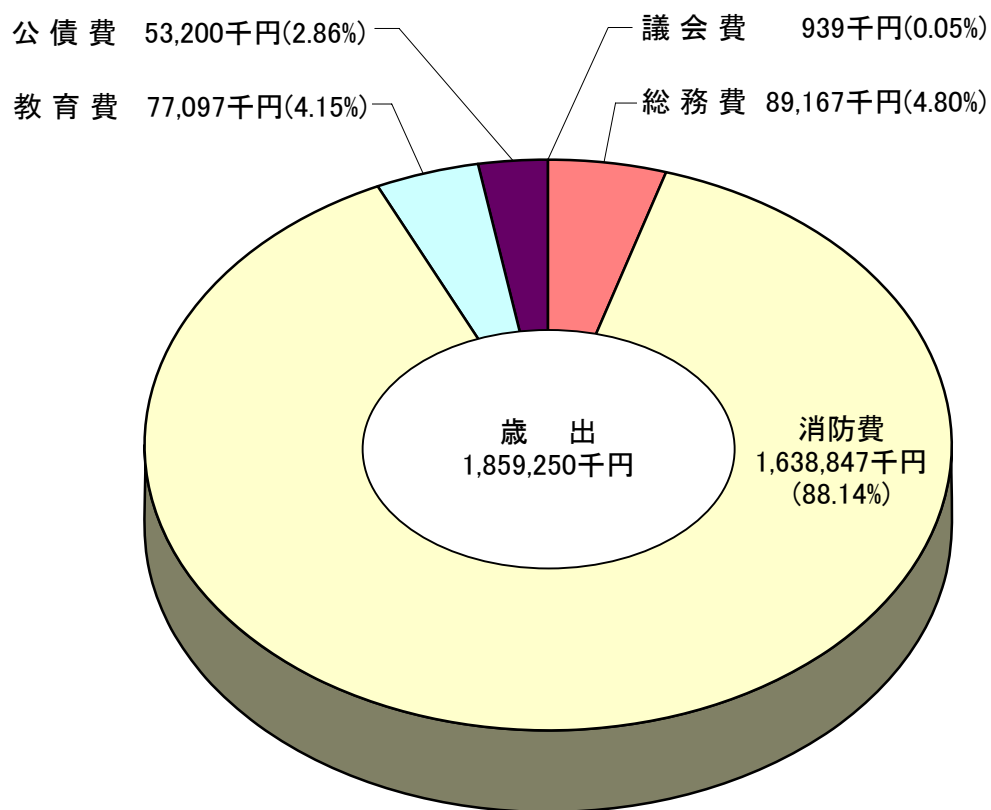
平成19年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	平成19年度予算額(最終)	平成19年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,802,307	1,802,307	0
使 用 料 及 び 手 数 料	3,296	2,640	△ 656
県 支 出 金	15,982	16,581	599
財 産 収 入	3,785	3,768	△ 17
繰 入 金	36,456	35,394	△ 1,062
繰 越 金	8,294	8,295	1
諸 収 入	1,495	2,179	684
合 計	1,871,615	1,871,164	△ 451

平成19年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	平成19年度予算額(最終)	平成19年度決算額	比 較
議 会 費	1,046	939	107
総 務 費	90,692	89,167	1,525
消 防 費	1,648,697	1,638,847	9,850
教 育 費	77,372	77,097	275
公 債 費	53,314	53,200	114
予 備 費	494	0	494
合 計	1,871,615	1,859,250	12,365

消 防 職 員 配 置 状 況

(平成20年4月1日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	総 務 課	11		1	1	3	1		4	1
	警 防 課	3		1	2					
	予 防 課	3		1	1	1				
	通 信 指 令 課	10		1	3	3	3			
	小 計	29	1	5	7	7	4		4	1
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	39		3	3	13	12		8	
	本 吉 分 署	20		1	1	5	7	2	4	
	南 町 出 張 所	14				4	3	2	5	
	大 島 出 張 所	17			1	3	8	1	4	
	唐 桑 出 張 所	16			1	4	4	2	5	
	小 計	106		4	6	29	34	7	26	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	30		3	3	7	9	1	7	
	歌 津 出 張 所	16			1	2	10		3	
	小 計	46		3	4	9	19	1	10	
合 計		181	1	12	17	45	57	8	40	1

※ 総務課には、宮城県消防学校入校者4名、宮城県消防学校派遣2名及び宮城県防災ヘリコプター隊員1名を含む。

※ 広域組合事務局出向者1名は含まない。

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

(平成20年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	21.4	38.0	36.3	32.9	25.2	22.0	34.8	4.4	7.0
合 計	181	1	12	17	45	57	8	40	1
1 年 未 満	4							4	
1 年 以 上	7							7	
2 "	8							8	
3 "									
4 "	2							2	
5 "	3							3	
6 "	4					1		3	
7 "	7					1		5	1
8 "	5				2	1		2	
9 "	5					1		4	
10 "	5					5			
11 "	6				2	3		1	
12 "	7					6		1	
13 "	7				1	6			
14 "	7				4	3			
15 "	1					1			
16 "	4				2	2			
17 "	2				2				
18 "	3				2	1			
19 "									
20 "									
21 "									
22 "	2				2				
23 "	3				3				
24 "	3				3				
25 "									
26 "	3			1	2				
27 "	3			1	1	1			
28 "									
29 "									
30 "	3			3					
31 "									
32 "	2				1	1			
33 "	6				3	1	2		
34 "	27		1	4	6	15	1		
35 "	22		4	7	3	6	2		
36 "	12		2	1	4	2	3		
37 "	2		2						
38 "	4	1	2		1				
39 "	1		1						
40 "	1				1				
41 "									

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消 防 職 員 階 級 別 年 齢

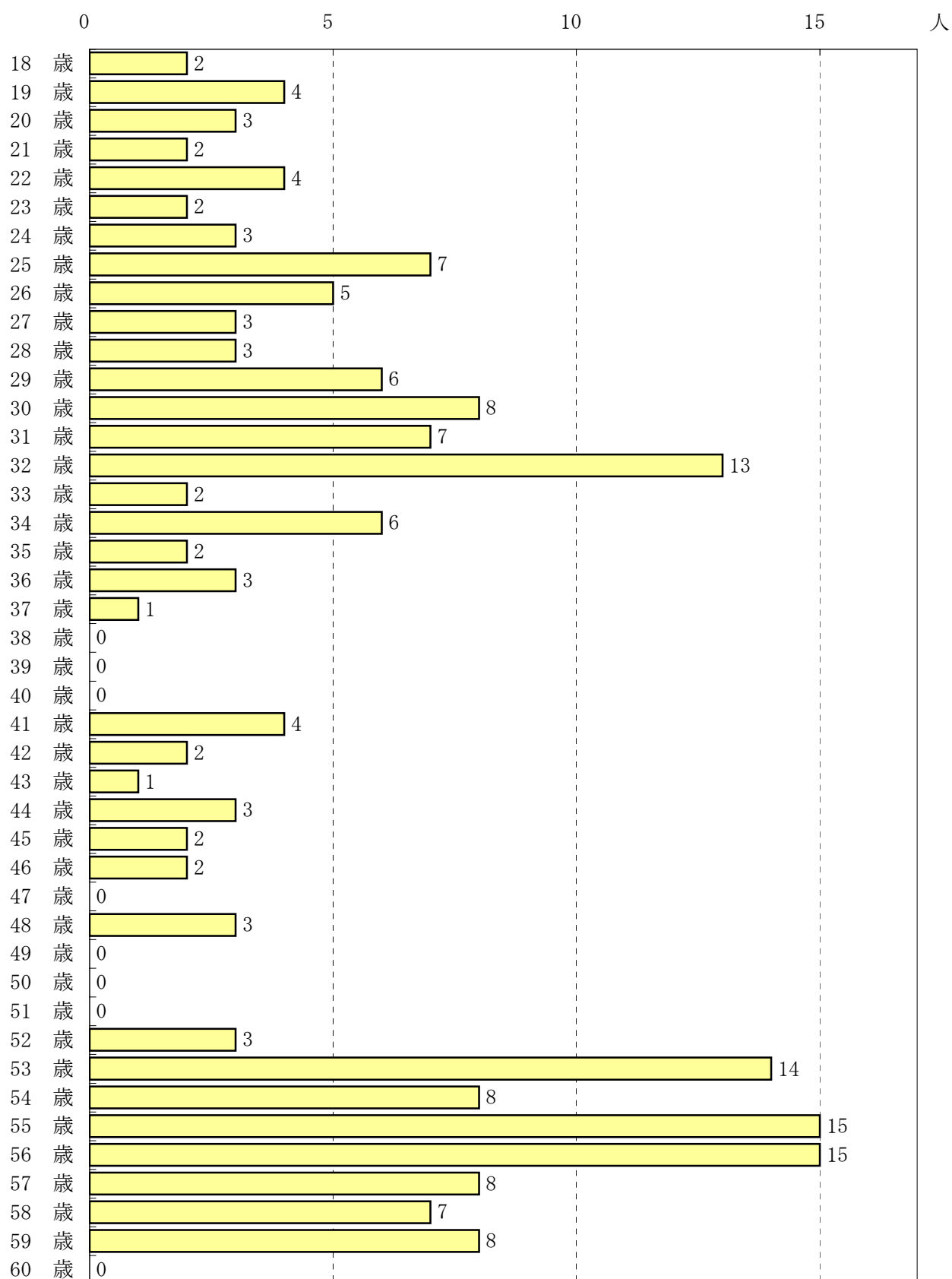
(平成20年 4 月 1 日現在)

階級 年 齢	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
平 均 年 齢	41.4	59.0	55.6	53.6	45.2	42.2	55.4	24.0	25.0
合 計	181	1	12	17	45	57	8	40	1
18 歳	2							2	
19 歳	4							4	
20 歳	3							3	
21 歳	2							2	
22 歳	4							4	
23 歳	2							2	
24 歳	3							3	
25 歳	7							6	1
26 歳	5							5	
27 歳	3							3	
28 歳	3					2		1	
29 歳	6					4		2	
30 歳	8					6		2	
31 歳	7					6		1	
32 歳	13				6	7			
33 歳	2					2			
34 歳	6				4	2			
35 歳	2				2				
36 歳	3				2	1			
37 歳	1					1			
38 歳									
39 歳									
40 歳									
41 歳	4				4				
42 歳	2				2				
43 歳	1				1				
44 歳	3			1	2				
45 歳	2			1	1				
46 歳	2				2				
47 歳									
48 歳	3			2		1			
49 歳									
50 歳									
51 歳									
52 歳	3				1	1	1		
53 歳	14			4	5	5			
54 歳	8		1	1	2	4			
55 歳	15		5	2	3	3	2		
56 歳	15		4		4	3	4		
57 歳	8		2		1	4	1		
58 歳	7			4	2	1			
59 歳	8	1		2	1	4			
60 歳									

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消防職員年齢構成図

(平成20年4月1日現在)



学 校 等 教 育 状 況 (過去10年)

種 別 \ 年 度		平成 19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	計	
宮 城 県 消 防 学 校	初 任 総 合 教 育		7	8		3	3	5	6	5	5	6	48
	専 科 育	警 防 科	2		2		2		2				8
		火 災 調 査 科		2		1		2		2			7
		予 防 査 察 科	2			1	2		2		2		9
		危 険 物 科		2				2				2	6
		特 殊 災 害 科			2								2
		救 助 科								4	6	5	15
		救急科(標準課程)								6	8	8	22
		幹 部 育	初 級 幹 部 科	2		1		2		2		2	
	中 級 幹 部 科			2		1		2		2		2	9
	上 級 幹 部 科		1		1								2
	特 別 教 育	火 災 原 因 調 査									3	8	11
		はしご自動車操作						1				2	3
		気 管 挿 管 講 習	3	3	6	3	1						16
		薬 剤 投 与 講 習	4	4									8
	小 計		21	21	12	9	10	12	12	19	26	33	175
消 防 大 学 校	本 科					1		1		1		3	
	幹 部 研 修 科						1	1		1		3	
	予 防 科		1									1	2
	警 防 科		1			1			1		1		4
	火 災 調 査 科		1										1
	救 急 科			1									1
	小 計		3	1	0	2	1	2	1	2	1	1	14
救急救命士	救急救命東京研修所		2	1	2	2	1	2	2	2	2	1	17
	上記以外の研修所等				東消1	東消1	東消1		東消1	東消1			5
合 計		26	23	15	14	13	16	16	24	29	35	211	

職員特殊技能資格取得状況

(平成20年4月1日現在)

階 級		総 数	消防司令 長 以 上	消防司令	消 防 司 令 補	消防士長	消 防 副 士 長	消 防 士
種 別	消防吏員数							
		180	13	17	45	57	8	40
大型免許	2 種	9			5	3		1
	1 種	104	4	9	28	35	7	21
	特 殊	13			2	2	2	7
	けん引	10		1	2	5		2
普通免許	2 種	1			1			
	1 種	180	13	17	45	57	8	40
自動2輪	普 通	40	2	4	14	7		13
	大 型	63	8	9	20	16	5	5
整備管理者		7	1	1	3	1	1	
救急救命士		30	1	3	11	13		2
潜水士		26		1	10	11		4
小型船舶 操縦士	1 級	11		2	1	8		
	2 級	40	4	5	15	11		5
無線	陸 上 特 殊	1 級	1					1
		2 級	26	2	13	9	2	
		3 級	71	1	1	9	24	36
	海上特殊	1 級	1					1
		2 級	5		2	3		
	アマ チュア	2 級	1			1		
		4 級	3	1	1	1		
		電話級	7	1	2	3	1	
クレーン 小 型	固定式	3			1	1	1	
	移動式	57	3	3	18	25	1	7
玉掛技能講習		53	3	2	17	24	1	6
特定化学物質等作業主任者		2			2			
アセチレンガス溶接士		8		1	3	3		1
電気工事士		2		1		1		
映写技師 16ミリ		9		3	4	2		
衛生管理者 第1種		3		2		1		
危険物 取扱者	甲 種	2			2			
	乙 種	167	8	10	32	35	2	80
消防 設備士	甲 種	2		1	1			
	乙 種	30	1	6	6	6		11
予防 技術 検定	予 防 査 察	7			2	2		3
	消防用設備等	1				1		
	危険物	1		1				

広域組合事務局出向者1名は含まない。



はたらく消防の写生会 最優秀賞
気仙沼市立大島小学校 4年 菊田 明日香 さん

防 火 対 象 物

消防法第17条対象物

(平成20年4月1日現在)

市 町 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	1	1		
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	125	51	33	41
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	17	13	1	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	3	3		
	ロ	飲 食 店	64	53	3	8
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	166	122	8	36
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	190	136	12	42
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	276	230	1	45
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	53	41	2	10
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	81	59	9	13
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	16	9	4	3
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	158	107	21	30
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	7	4		3
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	2	2		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	3		
10		車 両 の 停 車 場 等	6	6		
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	53	32	8	13
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	531	400	37	94
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2	2		
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	9	5	3	1
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫				
14		倉 庫	280	218	14	48
15		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	247	187	16	44
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	128	97	7	24
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	53	42	3	8
16の2		地 下 街				
16の3		準 地 下 街				
17		文 化 財 等	6	3		3
合 計			2,477	1,826	182	469

用途別消防用設備等の設置状況

(平成20年4月1日現在)

消防用設備等 用 途 別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス ク プ ラ リ ン ー	自 報 動 知 火 設 災 備	漏 警 電 報 火 災 機	非 警 報 設 常 備	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1		1	1				1
	ロ	公会堂・集会場	125	10		32	1	27	6	55
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	17		1	17				17
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	イ	待合・料理店等	3						1	2
	ロ	飲食店	64			29	3	17	7	51
4		百貨店・マーケット・店舗等	166	14	3	101	1	41	5	132
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	190	19	3	122	50	39	30	169
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	276	2		36	2	4	34	
6	イ	病院・診療所・助産所	53	9	5	39	16	28	7	46
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	81	8	9	56	3		4	46
	ハ	幼稚園・養護学校等	16	3		13	3			6
7		学校・各種学校等	158	81		115	5	66	32	7
8		図書館・博物館・美術館等	7	1		3		2	1	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2			2			1	2
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3					3	1	
10		車両の停車場等	6			2			1	2
11		神社・寺院・教会等	53	1		1	3	23	1	
12	イ	工場・作業場	531	58		195	3	8	1	22
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2			1				
13	イ	自動車車庫・駐車場	9			1				1
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	280	37		85		1		31
15		前各項に該当しない事業場	247	8		43	2	44	17	24
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	128	4	2	76	3	18	14	70
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	53	1		7	3	1	2	2
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	6			5				
合 計			2,477	256	24	982	98	322	165	689

用途別予防査察状況

(平成19年度中)

市 町 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	59	20	8	31
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	20	13	1	6
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	1	1		
	ロ	飲 食 店	72	55	4	13
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	117	83	7	27
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	240	159	13	68
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	16	1		15
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	31	11	2	18
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	113	80	9	24
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	18	9	4	5
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	66	16	21	29
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	3			3
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	1	1		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	3		
10		車 両 の 停 車 場 等	1	1		
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	44	28	8	8
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	91	15	34	42
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	1		1	
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫				
14		倉 庫	28	12		16
15		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	16	6	2	8
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	92	60	4	28
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	8	1	2	5
16の2		地 下 街				
16の3		準 地 下 街				
17		文 化 財 等	2			2
合 計			1,043	575	120	348

用途別中高層建築物の現況

(平成20年4月1日現在)

区 分 用 途 別			法 対 象 第 17 条 数	法 第 8 条 対 象 物 数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	1		1					
	ロ	公会堂・集会場	125	34	90	4	1				
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	17	17							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
3	イ	待合・料理店等	3	2	1		1				
	ロ	飲食店	64	30	31	2	1		1		
4		百貨店・マーケット・店舗等	166	102	28	13	1				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	190	100	29	11	2		3		3
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	276	12	2	70	9	6	1		
6	イ	病院・診療所・助産所	53	17		11	4	5	2		
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	81	52	5	4	2				
	ハ	幼稚園・養護学校等	16	11	1	1					
7		学校・各種学校等	158	58		40	4	2			
8		図書館・博物館・美術館等	7	3	4	2					
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	2							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	2	1						
10		車両の停車場等	6	1		1					
11		神社・寺院・教会等	53	21	8		1				
12	イ	工場・作業場	531	42	3	25	2	1			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2								
13	イ	自動車車庫・駐車場	9			2					
	ロ	飛行機などの格納庫									
14		倉庫	280			15	3				
15		前各項に該当しない事業場	247	57	13	57	6	5	4		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	128	69	8	46	4	4		2	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	53	1		7	1				
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	6		1						
合 計			2,477	634	225	312	42	23	11	2	4

防火管理者を要する対象物

(平成20年4月1日現在)

市 町 別 用 途 別			合 計		気仙沼市		本吉町		南三陸町	
			甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	1		1					
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	34	90	17	34	8	24	9	32
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	17		13		1		3	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	2	1	2	1				
	ロ	飲 食 店	30	31	25	26	1	2	4	3
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等		102	28	88	20	2		12	8
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	100	29	73	19	7	2	20	8
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	12	2	8	2			4	
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	17		15		1		1	
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	52	5	37	4	7		8	1
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	11	1	7		3		1	1
7	学 校 ・ 各 種 学 校 等		58		39		7		12	
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等		3	4	3	1				3
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	2		2					
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2	1	2	1				
10	車 両 の 停 車 場 等		1		1					
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等		21	8	15	5	3	1	3	2
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	42	3	34	3	5		3	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場								
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫								
14	倉 庫									
15	前各項に該当しない事業場		57	13	39	10	3	3	15	
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	69	8	49	6	5		15	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1				1			
16の2		地 下 街								
16の3		準 地 下 街								
17	文 化 財 等			1						1
合 計			634	225	470	132	54	32	110	61

建 築 同 意 事 務

(平成19年度中)

市 町 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	2	1		1
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等				
	ロ	飲 食 店	7	4	2	1
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	14	9		5
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	2	1		1
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	9	8		1
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	9	8		1
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	4	4		
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等				
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	4	4		
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等				
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場				
10		車 両 の 停 車 場 等				
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	3	3		
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	21	15	2	4
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	4	1	1	2
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫				
14		倉 庫	31	25	3	3
15		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	32	23	4	5
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	6	6		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2	1	1	
17		文 化 財 等				
18		延長50メートル以上のアーケード				
		専 用 住 宅	29	29		
		併 用 住 宅				
		そ の 他				
合 計			179	142	13	24

危 険 物

危険物施設

(平成20年4月1日現在)

市 町 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
合 計		416	305	37	74
製 造 所					
貯 蔵 所	小 計	281	218	19	44
	屋 内	37	25	6	6
	屋 外 タ ン ク	41	36	1	4
	屋 内 タ ン ク	10	9		1
	地 下 タ ン ク	87	61	8	18
	簡 易 タ ン ク	1	1		
	移 動 タ ン ク	78	65	1	12
	屋 外	27	21	3	3
取 扱 所	小 計	135	87	18	30
	給 油	68	41	9	18
	第 一 種 販 売	1	1		
	第 二 種 販 売				
	一 般	63	42	9	12
	移 送	3	3		

危険物施設の予防査察実施状況

(平成19年度中)

市 町 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
合 計		225	110	31	84
製 造 所					
貯 蔵 所	小 計	113	60	12	41
	屋 内	14	3	4	7
	屋 外 タ ン ク	4	1	1	2
	屋 内 タ ン ク	1			1
	地 下 タ ン ク	23	2	5	16
	簡 易 タ ン ク	1	1		
	移 動 タ ン ク	60	47	2	11
	屋 外	10	6		4
取 扱 所	小 計	112	50	19	43
	給 油	100	49	16	35
	第 一 種 販 売				
	第 二 種 販 売				
	一 般	12	1	3	8
	移 送				

危険物事務処理件数

(平成19年度中)

区 分 製造所等別		許 可		完 成		完成 (タンク検査 前検査)	仮 使 用	種 類 ・ 数 量 変 更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合 計		5	14	4	12		6	4	25	27	97
製 造 所											
貯 蔵 所	小 計	3	5	3	5			2	17	21	56
	屋 内								1	3	4
	屋外タンク	1							2	2	5
	屋内タンク								1	1	2
	地下タンク	1		1					4	1	7
	簡易タンク										
	移動タンク	1	5	1	5			1	6	4	23
	屋 外			1				1	3	10	15
取 扱 所	小 計	2	9	1	7		6	2	8	6	41
	給 油	1	5		4		3	2	7	2	24
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般	1	4	1	3		3		1	4	17
	移 送										

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(平成20年4月1日現在)

名 称		結 成 年 月 日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	118	
気仙沼支部	小 計		92	
	気 仙 沼 市	S32. 3. 17	76	
	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S35. 8	7	
	本 吉 町	S35. 8	9	
南三陸支部	小 計		26	
	南 三 陸 町 志 津 川	S35. 8	20	
	南 三 陸 町 歌 津	S35. 8	6	

防火管理者協会結成状況

(平成20年4月1日現在)

名 称		結 成 年 月 日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	165	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	49	
3	本 吉 町	S51. 8. 20	68	
4	南 三 陸 町 志 津 川	S49. 12. 5	90	
5	南 三 陸 町 歌 津	S55. 11. 21	47	
合 計			419	

幼年消防クラブ結成状況

(平成20年4月1日現在)

市 町 名	結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1 気 仙 沼 市	S57. 6. 10	23	1,049	
2 気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	1	42	
3 本 吉 町	S59. 12. 4	2	37	
4 南三陸町志津川	S58. 3. 9	5	304	
5 南三陸町歌津	S56. 6. 4	2	107	
合 計		33	1,539	

少年消防クラブ結成状況

(平成20年4月1日現在)

ク ラ ブ 名	結成年月日	隊員数	所 在 地
1 小 原 木 小 学 校	S55. 7. 16	13	気仙沼市唐桑町岩井沢97-3
2 中 井 〃	S55. 7. 17	17	気仙沼市唐桑町欠浜134-3
3 唐 桑 〃	S55. 7. 23	23	気仙沼市唐桑町宿浦400-2
4 馬 籠 〃	S59. 7. 20	8	本吉町小金山1-1
5 気 仙 沼 〃	S63. 6. 4	56	気仙沼市笹ヶ陣3-1
6 南気仙沼 〃	H元. 4. 25	61	気仙沼市南郷25-1
7 九 条 〃	H 3. 5. 17	48	気仙沼市九条326
合 計		226	

婦人防火クラブ結成状況

(平成20年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名	結成年月日	単位クラブ数	会 員 数	事 務 局 所 在 地
1 気 仙 沼 市	S56. 5. 28	18	1,892	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2 唐 桑 町	S45. 6. 17	4	783	気仙沼市唐桑町馬場181-1
3 本 吉 町	S50. 4. 9	40	3,500	本吉町津谷松尾1-1
4 南三陸町志津川	S46. 5. 18	41	3,912	南三陸町志津川字塩入77
5 南三陸町歌津	S47. 1. 27	17	1,432	南三陸町歌津字伊里前91
6 気仙沼本吉地区 婦人防火クラブ連合会	S56. 8. 11	120	11,519	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2



警 防



宮城海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同訓練

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(平成20年 4 月 1 日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	南 町 出 張 所	大 島 出 張 所	唐 桑 出 張 所	本 吉 分 署	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	39	6	11	3	4	3	4	5	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	10	1 (非常用)	2	2	1	1	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 車	2						1	1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
は し ご 車 (30m 級)	1		1						
照 明 電 源 車	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
高 速 消 防 救 急 艇	1				1				
高 規 格 救 急 自 動 車	6		1	1		1	1	1	1
救 急 自 動 車	2	1 (非常用)			1				
指 令 車	3	1	1					1	
査 察 車	1						1		
指 揮 車	1	1							
多 機 能 型 広 報 車	2					1			1
広 報 車	2	1			1				
資 器 材 搬 送 車	2		1					1	
人 員 輸 送 車	1	1							

消防車両等の配置現況

(平成20年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	指 令 車	ト ヨ タ	H01.12	18	本 部 指 揮 1
	指 揮 車	ト ヨ タ	H15.02	5	〃 指 揮 2
	防 火 広 報 車	ト ヨ タ	H04.09	15	〃 広 報 1
	人 員 輸 送 車	イ ス ブ	H03.02	17	
	消防ポンプ車(非常用)	イ ス ブ	S61.03	22	本 部 ポンプ 1
	救急自動車(非常用)	日 産	H05.09	14	〃 救 急 1
気仙沼消防署	消防ポンプ車(2号車)	三 菱	H11.01	9	気仙沼 ポンプ 1
	消防ポンプ車(3号車)	ト ヨ タ	H15.11	4	〃 ポンプ 2
	化 学 車 (防 災 85 号)	イ ス ブ	S60.08	22	〃 化 学 1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	10	〃 タンク 1
	は し ご 車	日 野	H18.02	2	〃 梯 子 1
	救 助 工 作 車	三 菱	H06.09	13	〃 救 助 1
	水 難 救 助 車	日 産	H07.11	12	〃 救 助 2
	照 明 電 源 車	イ ス ブ	S57.12	25	〃 照 明 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H06.03	14	〃 救 急 1
	指 令 車	三 菱	H09.12	10	〃 指 揮 1
	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	S62.10	20	〃 搬 送 1
南 町 出 張 所	消防ポンプ車(1号車)	イ ス ブ	S57.03	26	南 町 ポンプ 1
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H07.03	13	〃 ポンプ 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H13.12	6	〃 救 急 1
大 島 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H07.12	12	大 島 ポンプ 1
	救 急 自 動 車	日 産	H10.12	9	〃 救 急 1
	広 報 連 絡 車	ト ヨ タ	H03.09	16	〃 搬 送 1
	高 速 消 防 救 急 艇		H12.03	8	あ さ ぎ り 1
唐 桑 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H12.06	7	唐 桑 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H15.03	5	〃 救 急 1
	多 機 能 型 広 報 車	三 菱	H09.03	11	〃 搬 送 1
本 吉 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19.01	1	本 吉 ポンプ 1
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	H14.12	5	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H12.04	7	〃 救 急 1
	査 察 車	日 産	H04.03	16	〃 指 揮 1
南三陸消防署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H18.01	2	南三陸 ポンプ 1
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	H14.12	5	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H09.01	11	〃 救 急 1
	指 令 車	日 産	H04.03	16	〃 指 揮 1
	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	H11.10	8	〃 搬 送 1
歌 津 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H14.12	5	歌 津 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H17.11	2	〃 救 急 1
	多 機 能 型 広 報 車	ト ヨ タ	H09.06	10	〃 搬 送 1

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員

(消防施設整備計画実態調査：平成18年4月1日現在)

区 分		基準台数 (台)	基準台数 に対する 人 員 の 基 準 数 (人)	現有台数 (非常用 を除く) (台)	現有台数 に対する 人 員 の 基 準 数 (人)	現 有 人 員 数 (人)
指揮隊員	指 揮 車	4	231	4	216	141
消防隊員	消 防 ポ ン プ 自 動 車	11		11		
	は し ご 自 動 車	1		1		
	化 学 消 防 車	8		8		
	三 点 セ ッ ト	0		0		
	消 防 艇	1		1		
	特 殊 車	9		9		
救急隊員	救 急 自 動 車	7		7		
	救 急 用 航 空 機	—		—		
救助隊員	救 助 工 作 車 (A 及 び B を 除 く)	1		0		
	救 助 工 作 車 (省 令 4 条 救 助 隊) A	1		1		
	その他の消防用自動車 B	0		0		
通 信 員						13
予防要員	予 防 事 務 の 要 員	状 況 を 勘 案 し 定 め た 人 員 数				14
	危 険 物 事 務 の 要 員	〃				1
庶務の処理等の人員						27

※化学消防車：「泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車」等を含む。

※三点セット：「大型化学消防車」「大型高所放水車」「泡原液搬送車」をいう。

※特殊車：「照明電源車」「小型動力ポンプ付水槽車」「広報車」「資機材搬送車」等を含む。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：平成18年4月1日現在)

市町名	地域名	人口 (人)	署 所					動 力 消 防 ポ ン プ 数							
			基 準 数	現 有 数	不 足 数	比 率 (%)	イ／ア ×100	署所管理分		消 防 団 管 理 分					
								車消 防 台ポン 数 プ (台)		車消 防 台ポン 数 プ (台)		動手 力引 数ポ・ ン小 プ型 (口)		ン動 力 プ消 防 数ポ (口)	
								国	市町村 ア ウ	国	市町村 エ	国	市町村 オ	国	市町村
気仙沼市	市 街 地	36,644	2	2	2		100	4	4	1	7	4	12	6	26
	準市街地	21,690		2	2		100		2		3		24	46	30
	そ の 他	9,840											23		23
	計	68,174	2	4	4		100	4	6	1	10	4	59	52	79
本吉町	市 街 地	—													
	準市街地	4,211		1	1		100		2		2		8	10	12
	そ の 他	7,696											22		22
	計	11,907		1	1		100		2		2		30	10	34
南三陸町	市 街 地	—													
	準市街地	13,459		2	2		100		3		3		25	28	31
	そ の 他	5,811											26		26
	計	19,270		2	2		100		3		3		51	28	57
合 計	市 街 地	36,644	2	2	2		100	4	4	1	7	4	12	6	26
	準市街地	39,360		5	5		100		7		8		57	84	73
	そ の 他	23,347											71		71
	計	99,351	2	7	7		100	4	11	1	15	4	140	90	170

市 町 名	地 域 名	消防ポンプ車現有数				動力消防ポンプ現有数									
		合 計				署所管理分					消 防 団 管 理 分				
		車 消 防 ポ ン プ 数 (台)	算 化 学 車 数 換 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	車 消 防 ポ ン プ 数 (台)	算 化 学 車 数 換 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	車 消 防 ポ ン プ 数 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	手 引 小 型 動 数 (口)	不 足 数 (台)	比 率 (%)
		カ+キ ①		(ウ+エ) -①	①/(ウ+ エ)×100	カ		ウ-カ	カ/ウ ×100	キ	エ-キ	キ/エ ×100	ク	オーク	ク/オ ×100
気 仙 沼 市	市 街 地	11			100	4			100	7		100	12		100
	準市街地	5			100	2			100	3		100	24		100
	そ の 他												23		100
	計	16			100	6			100	10		100	59		100
本 吉 町	市 街 地														
	準市街地	4			100	2			100	2		100	8		100
	そ の 他												22		100
	計	4			100	2			100	2		100	30		100
南 三 陸 町	市 街 地														
	準市街地	8		△2	133	3			100	5	△2	167	25		100
	そ の 他												26		100
	計	8		△2	133	3			100	5	△2	167	51		100
合 計	市 街 地	11			100	4			100	7		100	12		100
	準市街地	17		△2	113	7			100	10	△2	125	57		100
	そ の 他												71		100
	計	28		△2	108	11			100	17	△2	113	140		100

消 防 水 利

管内水利状況

(平成20年4月1日現在)

市 町 種 別			気 仙 沼 市		本 吉 町		南 三 陸 町		合 計		
合 計 (A) + (B) + (C)			1, 417		371		482		2, 270		
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	502	1, 031	154	188	97	282	753	1, 501	
		地 下	529		34		185		748		
	公 設	地 上	466		150		96		712		
		地 下	507		33		185		725		
	私 設	地 上	36		4		1		41		
		地 下	22		1				23		
	防 火 水 槽	小 計 (B)		217		172		186		575	
		100m ³ 以上		11		3		4		18	
40m ³ 以上 100m ³ 未満		145		91		152		388			
40m ³ 未満		61		78		30		169			
そ の 他	小 計 (C)		169		11		14		194		
	河川・溝等		15						15		
	海 ・ 沼		125		5		1		131		
	プ ー ル		26		5		11		42		
	ごう・池等		3		1		2		6		

通 信



119番受付状況(通信指令室)

通 信

通 信 施 設 の 現 況

(平成20年4月1日現在)

区 分 所 属		有 線						自動車・携 帯用電話	無 線						
		火災報知専用 電話	加 入			指令・無線専用 回線	直 通 電 話		消 防					防 災	
			一 般 回 線	サ テ レ フ ォ ン	F A X				固 定 局	基 地 局	陸上移動局			基 地 局	F A X
											車 載	携 帯	レ ー ダ ー		
合 計		21	18	1	8	9	8	9	5	6	38	23	1	1	1
消 防 本 部		21	9	1	2	2	4	1	1	1	5	4		1	1
気 消 防 仙 署 管 内	気仙沼消防署		1			1		1			11	6			
	南町出張所		1		1	1		1			3	2			
	大島出張所		1		1	1		2		1	4	2	1		
	唐桑出張所		1		1	1	1	1	1	1	3	2			
	本吉分署		2		1	1	1	1	1	1	4	2			
	小 計		6		4	5	2	6	2	3	25	14	1		
南 消 防 三 署 管 内	南三陸消防署		2		1	1	2	1	1	1	5	3			
	歌津出張所		1		1	1		1	1	1	3	2			
	小 計		3		2	2	2	2	2	2	8	5			

消防テレホンサービス利用状況

(平成19年)

月	利 用 件 数
1 月 ～ 3 月	2,580
4 月 ～ 6 月	2,821
7 月 ～ 9 月	1,602
10 月 ～ 12 月	3,437
合 計	10,440

119番受信件数

(平成19年)

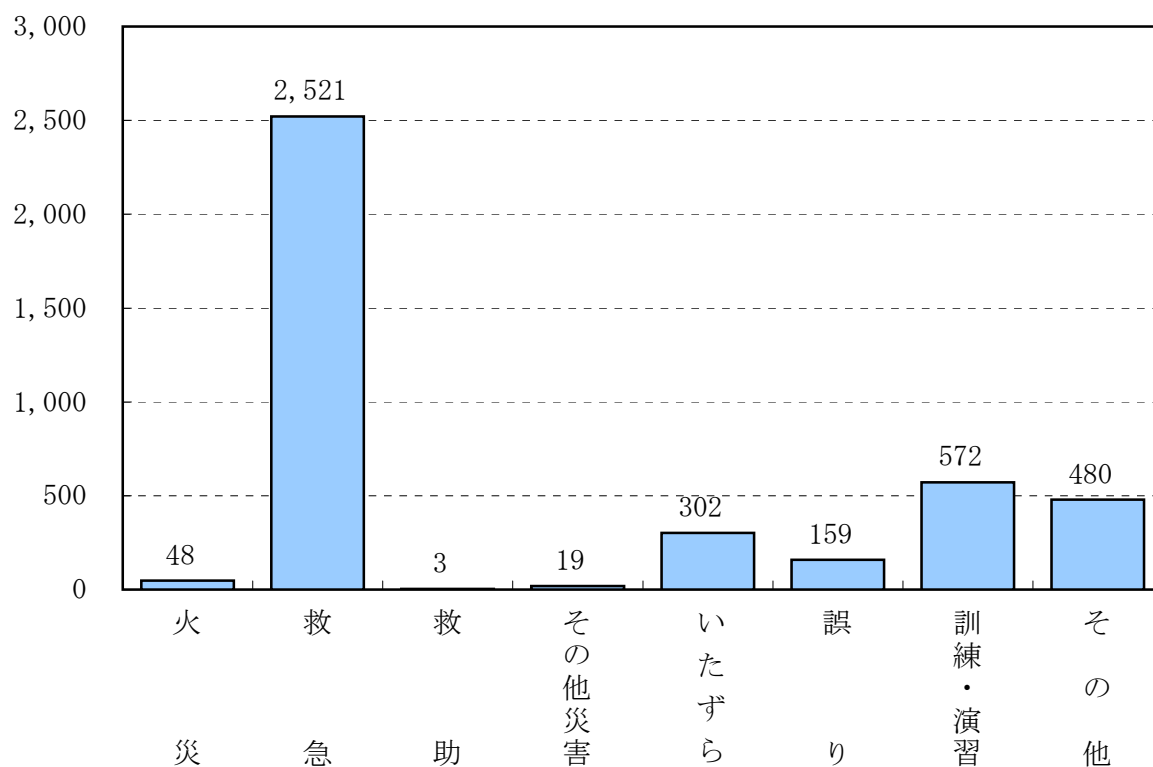
月 別 種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
一般加入電話	火 災	1	4	5	5	3	1	1	4	2		3	4	33
	救 急	199	151	206	164	141	137	160	183	192	188	179	188	2,088
	救 助				1							1		2
	その他の災害		3	2	1	1				2	2	1	1	13
	いた ず ら	16	17	26	20	18	2	4	6	6	5	7	5	132
	誤 り	7	9	8	10	8	5	10	8	8	9	17	10	109
	訓 練 ・ 演 習	28	35	31	29	51	53	55	14	31	47	111	49	534
	試 験	141	127	100	108	88	28	81	27	34	155	45	29	963
	そ の 他	39	10	21	30	18	27	28	32	27	23	27	31	313
電 話	F 火 災													
	A 救 急													
	その他の災害													
	X 訓練・試験等	4			1	1								6
	一般加入電話小計	435	356	399	369	329	253	339	274	302	429	391	317	4,193
携 帯 電 話	火 災		8	1						2	1	3		15
	救 急	26	39	29	36	26	35	43	46	42	40	30	41	433
	救 助								1					1
	その他の災害		1								4		1	6
	いた ず ら	30	9	28	28	11	7	5	7	6	7	8	24	170
	誤 り	3	5	2	4	2	10	3	2	2	6	4	7	50
	訓 練 ・ 演 習		5	6	2	6	2	2		4	4	7		38
	試 験									1				1
	そ の 他	16	9	14	7	5	18	20	16	22	10	11	19	167
	携帯電話小計	75	76	80	77	50	72	73	72	79	72	63	92	881
合 計		510	432	479	446	379	325	412	346	381	501	454	409	5,074

○火災・救急・救助には第2報・第3報の通報も含まれている。

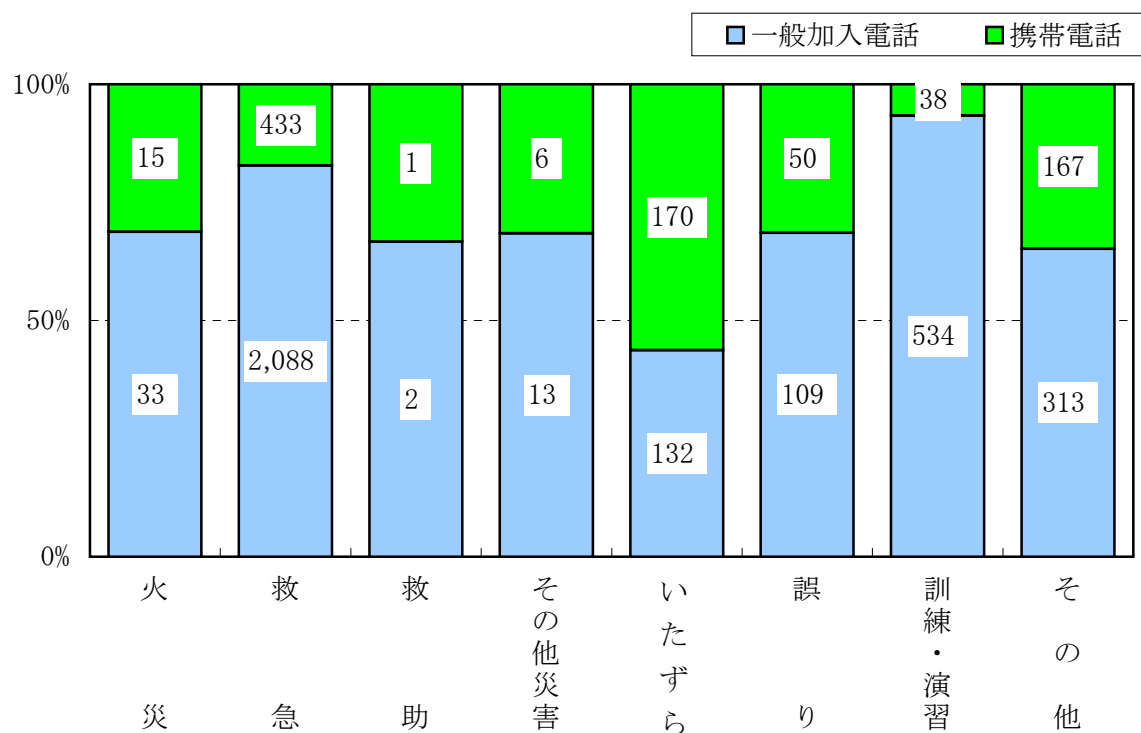
○携帯電話には、PHSも含まれる。

○FAX119は、平成16年9月1日運用開始。

119番受信件数（平成19年）



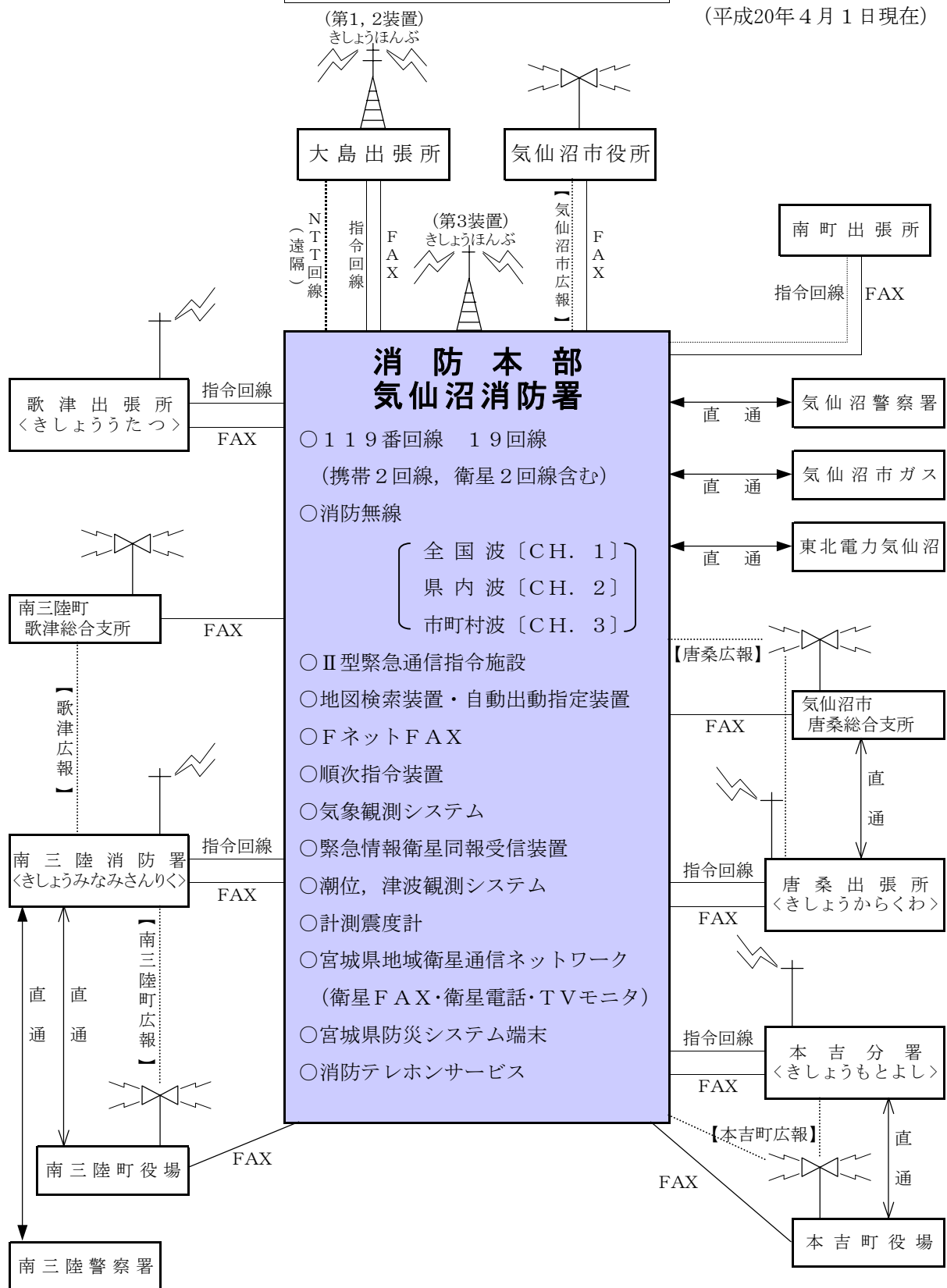
119番通報 一般加入電話・携帯電話比率（平成19年）



※ 「試験」及び「FAX119」は除く。

通 信 系 統 図

(平成20年 4 月 1 日現在)



気 象

気象統計

(平成19年)

月 区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計 ／ 平 均
気 温 (℃)	平 均	2.6	2.8	4.1	8.1	14.6	19.1	19.9	24.2	21.7	14.8	7.9	3.9	12.0
	最 高	10.9	13.4	14.8	20.9	27.2	27.7	32.1	36.7	32.7	23.2	19.4	13.2	36.7
	最 低	-4.0	-4.8	-3.9	-1.8	6.6	10.6	14.2	16.6	12.7	1.6	-2.3	-3.0	-4.8
降 水 量 (mm)	総 量	115.5	59.0	57.5	66.0	173.0	162.5	257.5	88.5	143.5	101.5	58.5	67.5	1350.5
	最大日量	88.5	49.0	23.0	21.5	57.5	87.5	57.0	25.0	83.5	57.0	39.0	38.0	88.5
	積 雪 (cm)		3.5	8.0								9.1	2.0	22.6
天 気	晴	17	14	13	12	13	16	9	19	13	15	19	16	176
	曇	10	9	15	14	11	10	14	5	14	12	9	9	132
	雨	1	1	2	4	4	3	5	6	1	2	1	3	33
	雪											1		1
	そ の 他	3	4	1		3	1	3	1	2	2		3	23
平 均 湿 度 (%)		70.3	67.1	67.1	71.1	68.8	77.7	80.2	77.2	77.4	71.8	69.4	73.4	72.6
最 多 風 向		北西	北西	北西	北北西	北北西	南東	東	北北西	北北西	北北西	北西	北北西	北北西
風 速	平 均	1.7	2.0	1.9	1.6	1.6	1.3	1.2	1.2	1.3	1.4	1.7	1.6	1.5
	最 大	24.9	21.9	18.6	23.9	18.5	14.9	16.0	17.8	28.7	16.2	19.0	18.0	28.7

気象情報等受信統計

(平成19年)

月 別 種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	波 浪	1						1		1				3
	大 雨							1		1				2
	洪 水							1		1				2
	暴 風	1	3		1			1		1			1	8
	大 雪													
	暴 風 雪		2											2
	津 波													
	高 潮													
警 報 計		2	5		1			4		4			1	17
注 意 報	乾 燥	2	5	5	6	5					3	1	2	29
	強 風	9	11	12	6	10	3	3	2	4	5	4	8	77
	波 浪	4	5	6	3	6	2	3	2	4	2	1	4	42
	大 雨	1				2	2	3	8	5	2	1	1	25
	洪 水	1				2	2	3	8	5	2	1	1	25
	雷	3	4	2	5	9	5	8	11	7	2	5	1	62
	濃 霧	4	2	2	8	9	9	10	13	12	7	4	7	87
	大 雪													
	風 雪	2	3	2								2	2	11
	着 雪													
	低 温		2					2						4
	津 波	1							1					2
	霜			8	9						1			18
	高 潮	2				3		3	2	2	3		2	17
注 意 報 計		29	32	37	37	46	23	35	47	39	27	19	28	399
警報・注意報計		31	37	37	38	46	23	39	47	43	27	19	29	416
火災気象通報		14	14	24	18	17	1			1	9	3	6	107

地 震	震 度 1	5			3	2	3	3	5	2	2	2	1	28
	震 度 2			1	3	1	2	1				3	1	12
	震 度 3												1	1
	震 度 4													
	震 度 5 弱													
	震 度 5 強													
地 震 計		5		1	6	3	5	4	5	2	2	5	3	41
○震度は、気仙沼・本吉広域防災センター（気象庁設置）の震度計データ。														



管内消防団

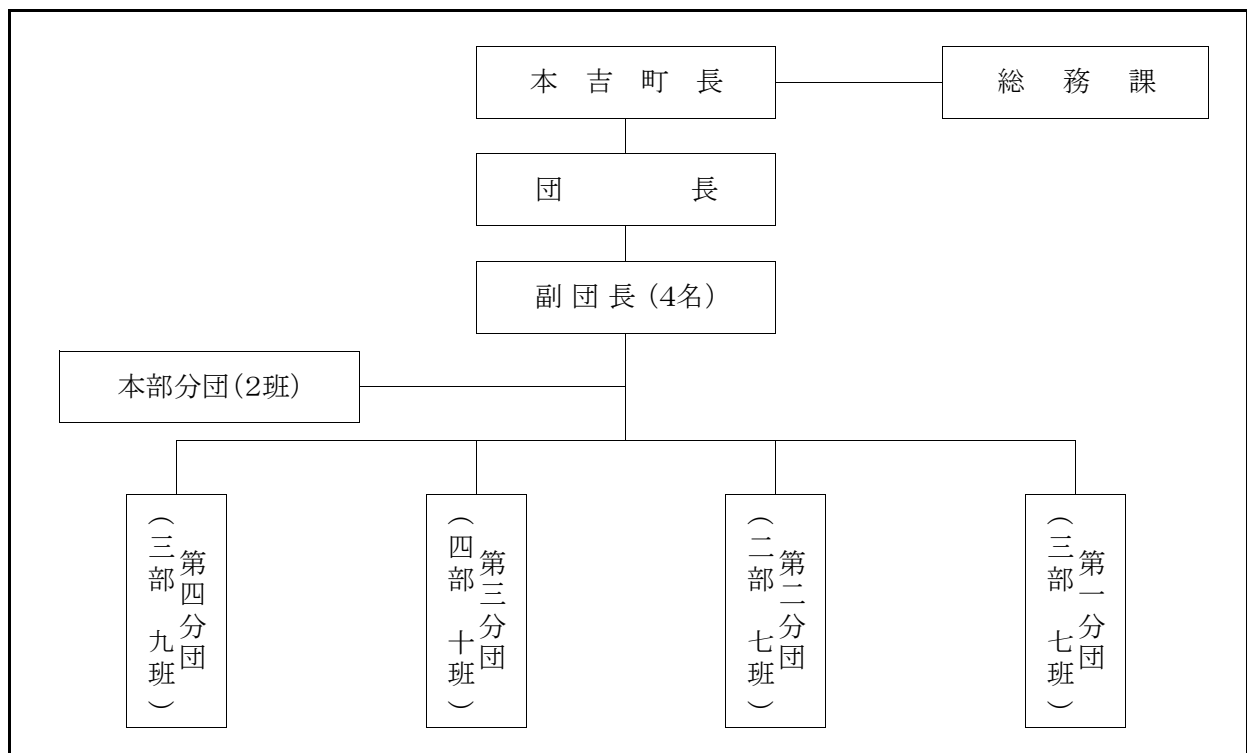
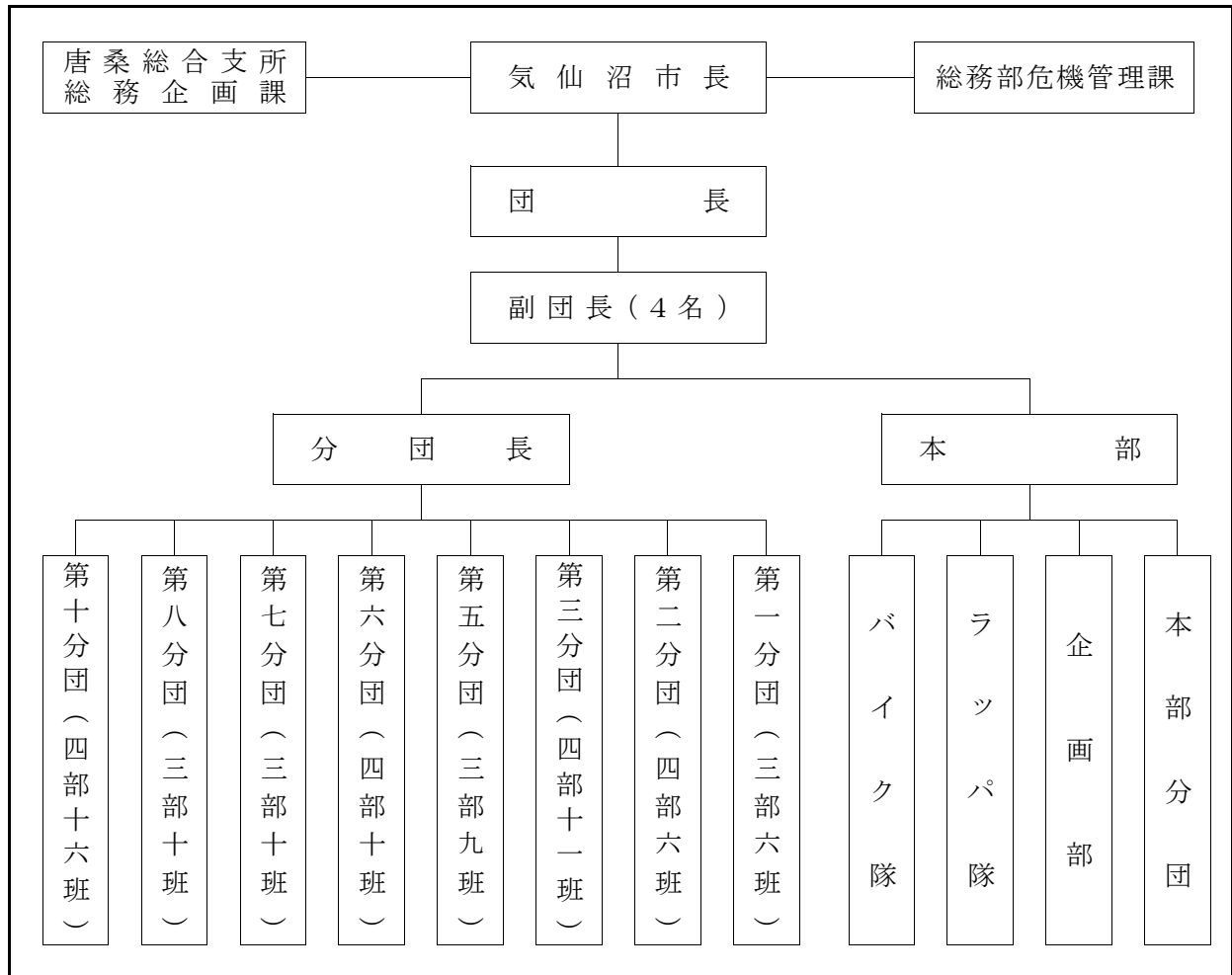


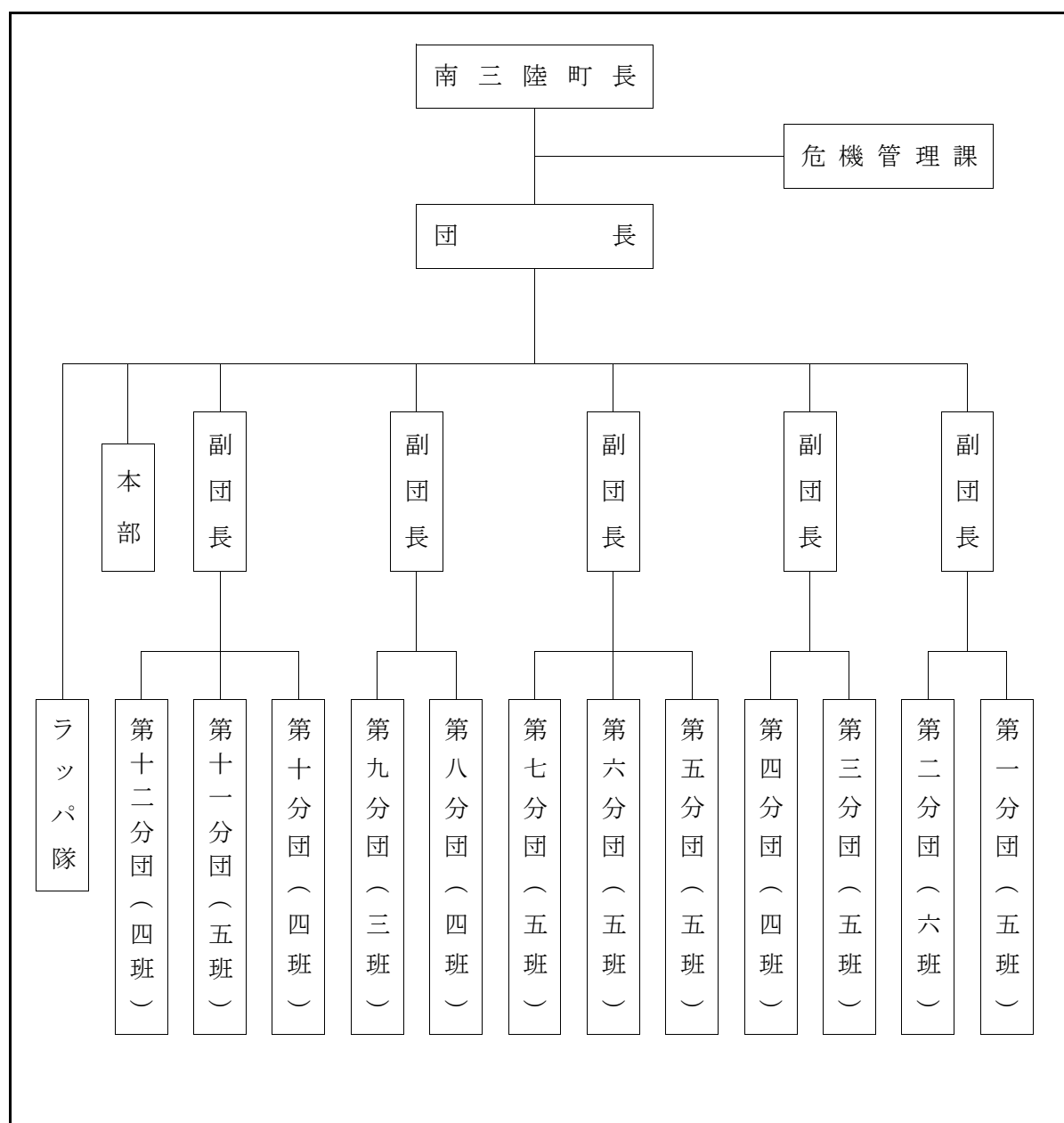
第45回宮城県消防操法大会
(気仙沼市消防団出場)

管内消防団

組織機構図

(平成20年4月1日現在)





組 織

(平成20年4月1日現在)

区 分 市 町	団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
気 仙 沼 市	1	9	30	80	700	598
本 吉 町	1	5	13	35	300	273
南 三 陸 町	1	12		55	630	578
合 計	3	26	43	170	1,630	1,449

階級別消防団員数

(平成20年4月1日現在)

階 級 市 町	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
気 仙 沼 市	1	4	9	19	30	80	455	598
本 吉 町	1	4	5	5	13	35	210	273
南 三 陸 町	1	5	12	13		56	491	578
合 計	3	13	26	37	43	171	1,156	1,449

年齢別消防団員数

(平成20年4月1日現在)

年 齢 市 町	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
気 仙 沼 市		46	146	185	172	49	598
本 吉 町		34	55	98	68	18	273
南 三 陸 町		46	173	231	107	21	578
合 計		126	374	514	347	88	1,449

在職年数別消防団員数

(平成20年4月1日現在)

年 数 市 町	5 未	年 満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30 以 年 上	合 計
気 仙 沼 市	128		113	90	67	79	56	65	598
本 吉 町	61		43	37	35	33	29	35	273
南 三 陸 町	119		107	108	101	64	36	43	578
合 計	308		263	235	203	176	121	143	1,449

消防団員報酬

(平成20年4月1日現在) (単位：円)

報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
気 仙 沼 市	92,400	74,800	56,700	47,700	39,500	30,400	22,500	2,700
本 吉 町	66,500	46,000	32,200	28,100	25,000	24,000	21,500	2,300
南 三 陸 町	92,400	64,000	45,000	38,000		30,400	22,500	2,300

消防施設の現況

(平成20年4月1日現在)

施 設 市 町	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	その他の 水 利
気 仙 沼 市	10	40	59	1,031	217	169
本 吉 町	2	23	30	188	172	11
南 三 陸 町	4	43	43	282	186	14
合 計	16	106	132	1,501	575	194



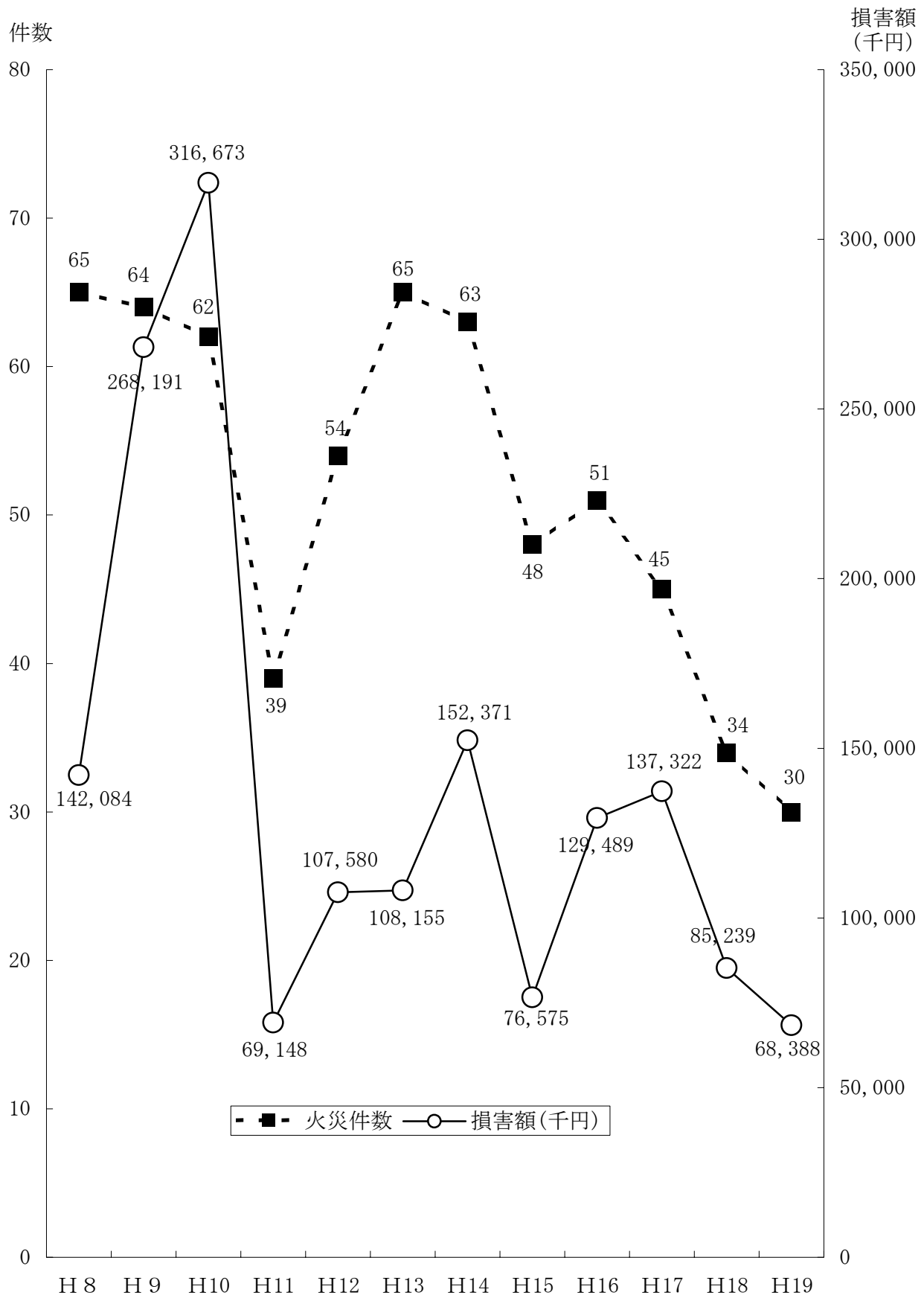
火災・救急統計



2008年度 全国統一防火標語

「火のしまつ 君がなくて 誰がする」

火災件数及び損害額の推移

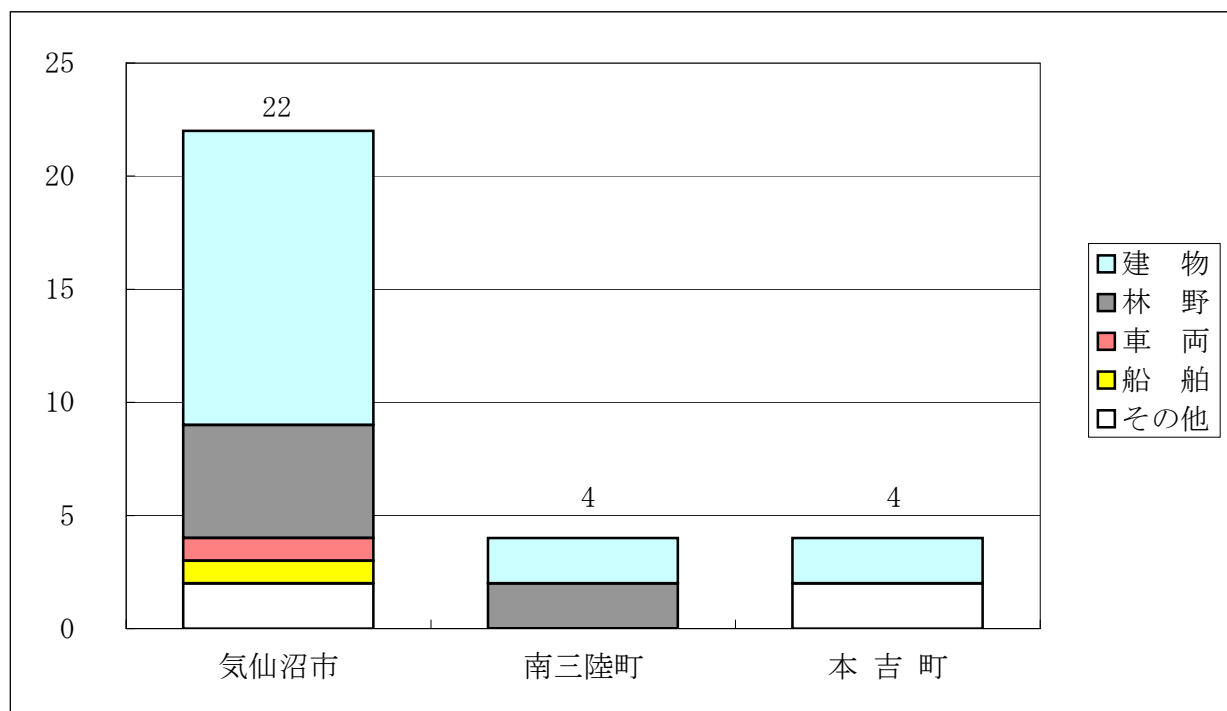


市 町 別 火 災 発 生 状 況

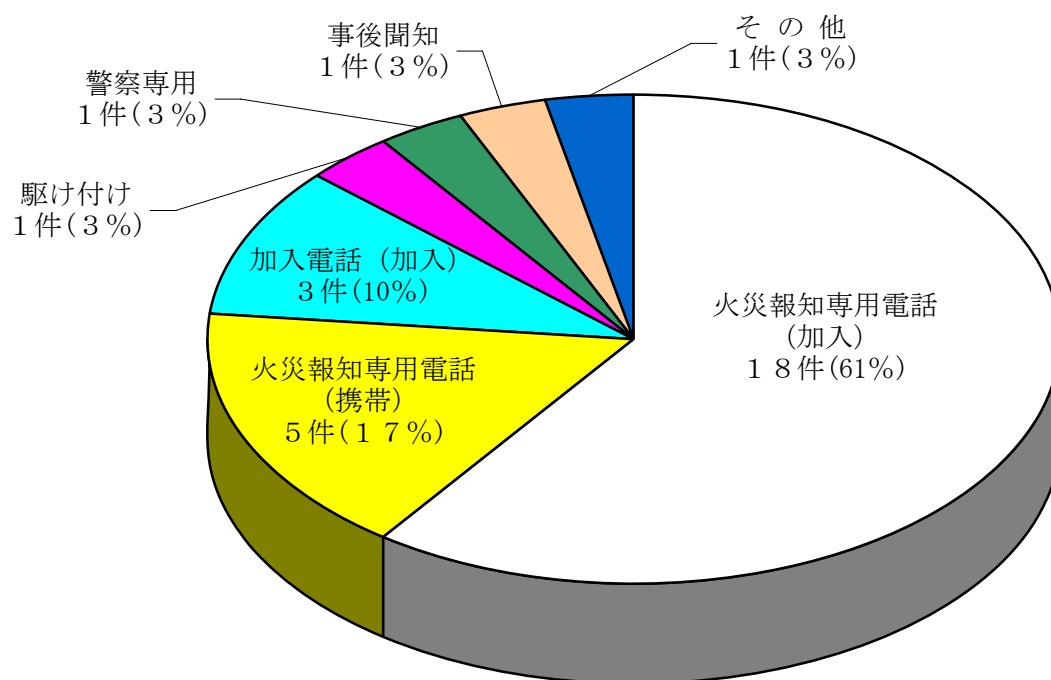
(平成19年)

市 町 区 分		気 仙 沼 市	南 三 陸 町	本 吉 町	総 計
火 災 件 数	建 物	13	2	2	17
	林 野	5	2		7
	車 両	1			1
	船 舶	1			1
	そ の 他	2		2	4
	合 計	22	4	4	30
り 災 棟 数	全 焼	11	2	1	14
	半 焼	2			2
	部 分 焼	3		1	4
	ぼ や	6	1		7
	合 計	22	3	2	27
建物焼損面積 (㎡)		928	133	193	1,254
内類焼					
林野焼損面積 (a)		32	184		216
内類焼					
り 災 世 帯 数		12	1	1	14
り 災 人 員		27	2	2	31
損 害 額 (千円)	建 物	34,977	22,083	2,252	59,312
	内類焼				
	林 野	411	8,367		8,778
	内類焼				
	車 両	276			276
	内類焼				
	船 舶	12			12
	内類焼				
	そ の 他	10			10
	内類焼	10			10
合 計		35,686	30,450	2,252	68,388
	内類焼	10			10
死 者		1			1
負 傷 者					
放 水 火 災 件 数		14	4	4	22

火災件数



覚知別火災発生状況

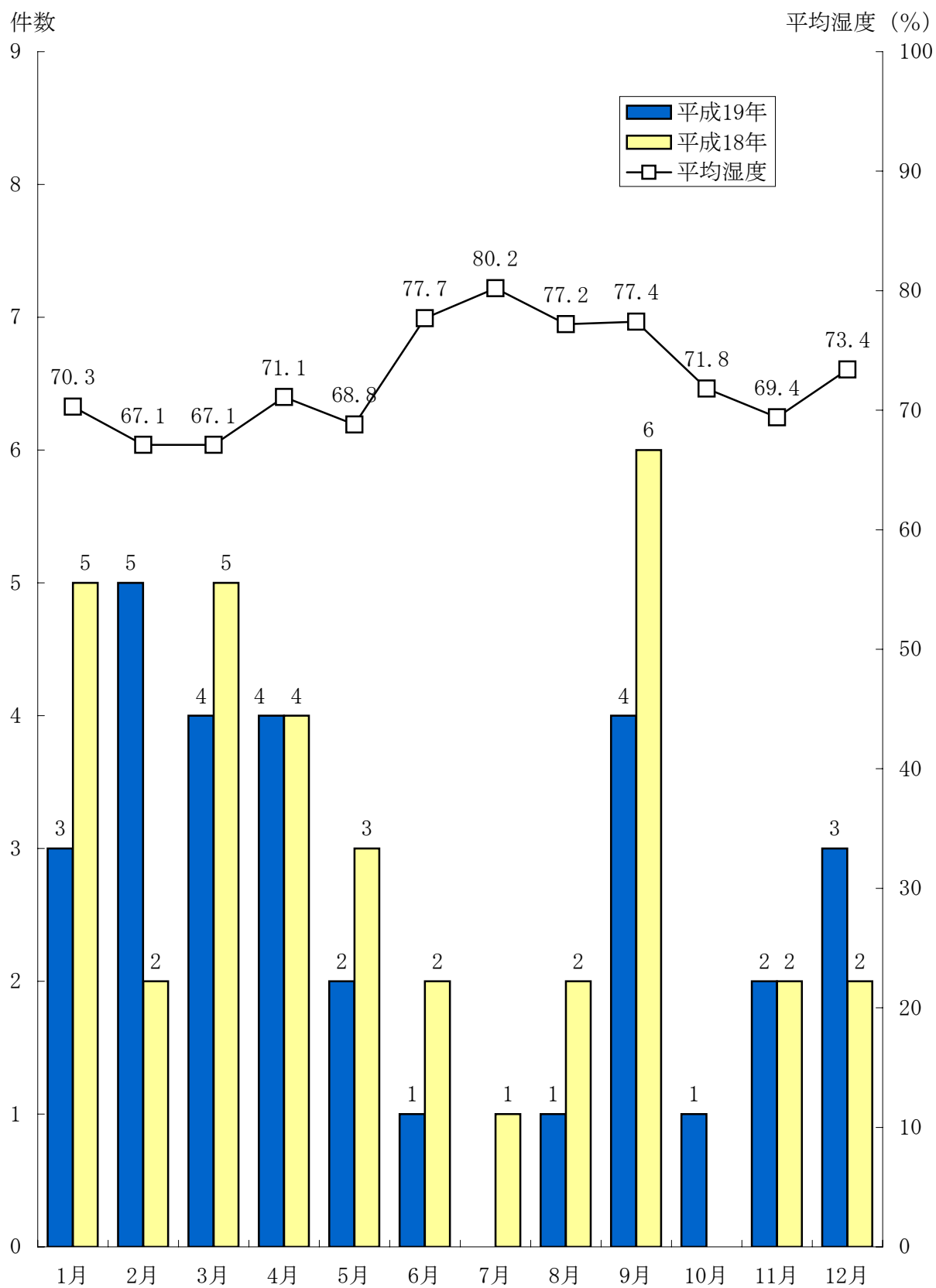


月別火災発生状況

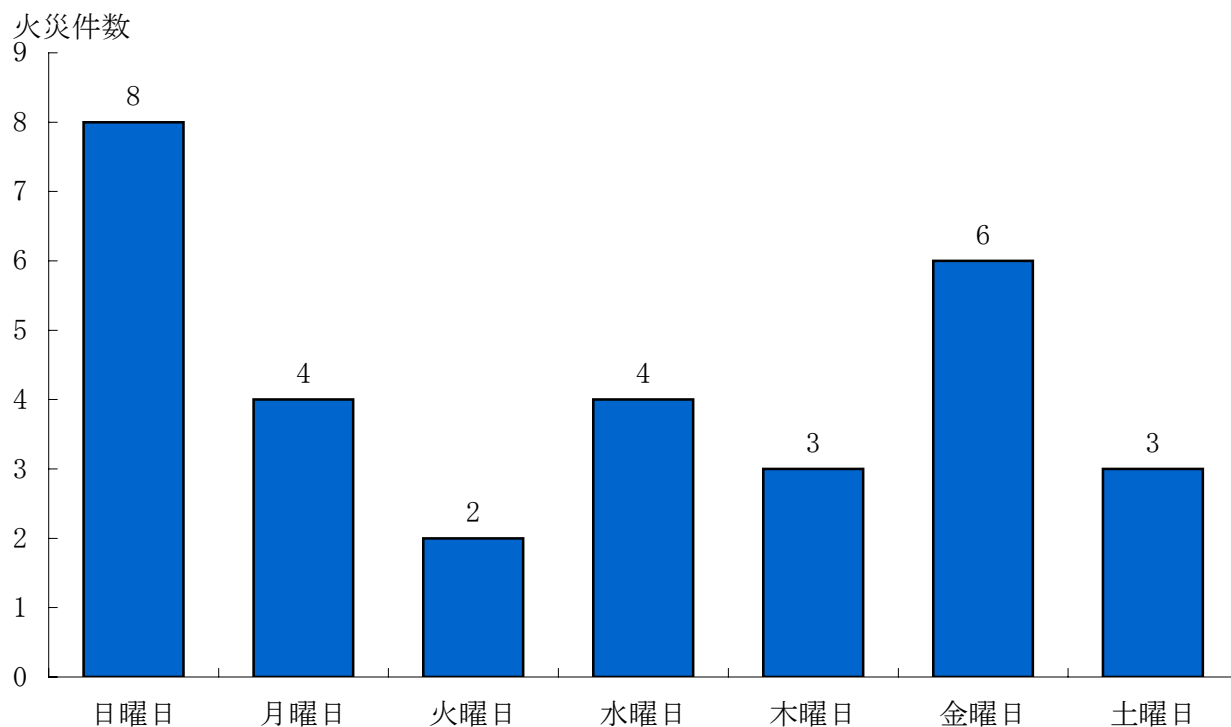
月 別 区 分			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月			
火災 件数	建物	全焼	1	3	1	3	5	1	4	1	2	4	2	2	1	
		半焼			1											
		部分焼			1					1						
		ぼや			1											
	林野		1		1	3		1		2	1					
	車両															
	船舶		1													
	その他の				1					1						
火災 棟数	棟数	全焼	1	1	1	4	1	3	4	4	5	5				
		半焼			1											
		部分焼			1					1						
		ぼや			1											
	世帯数	全損	1		1	3		1		1	2		1	2		
		半損			1					1						
		小損			1					1						
	建物焼損面積（㎡）							150		5			264		313	
内類焼																
林野焼損面積（a）			3		3		198		11				1			
内類焼																
損害 額 （千円）	建物	建物	42		24,980		155		2,636		5,570					
		内類焼														
		内容物			4,959		44		378		1,789					
		内類焼														
	林野	林野					8,758						20			
		内類焼														
	車両	車両														
		内類焼														
	船舶	船舶	12													
		内類焼														
	その他の															
	内類焼															
合計		54		29,939		8,957		3,014		7,359		20				
内類焼																
死者																
負傷者																
放水火災件数			1		4		4		3		2		1			
放水ポンプ台数			2		19		15		9		10		2			
出動延べ人員(吏員)			20		95		71		64		43		20			
出動延べ人員(団員)			12		273		315		165		82		20			

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合 計		
						1			1			2			1			9		
							3			1			2			2		1	17	
						1												3		
						1									1			4		
				1				4			1			2			3		7	30
																			1	
																1			1	
																			1	
				1				1											4	
						1			2			2			1			14		
							3			3			4			2		2	27	
						1			1									4		
						1						2			1			7		
									1			1						5		
							1			1			2			1		2	14	
						1						1			1			7		
						45			202			87			188			1, 254		
																		216		
						146			4, 246			4, 362			1, 236			43, 373		
						105			7, 413			428			823			15, 939		
																		8, 778		
															276			276		
																		12		
												10						10		
												10						10		
						251			11, 659			4, 800			2, 335			68, 388		
												10						10		
												1						1		
				1		2			1			2			1			22		
				3		10			10			10			7			97		
				6		42			34			42			53			490		
				43		79			45			130			77			1, 241		

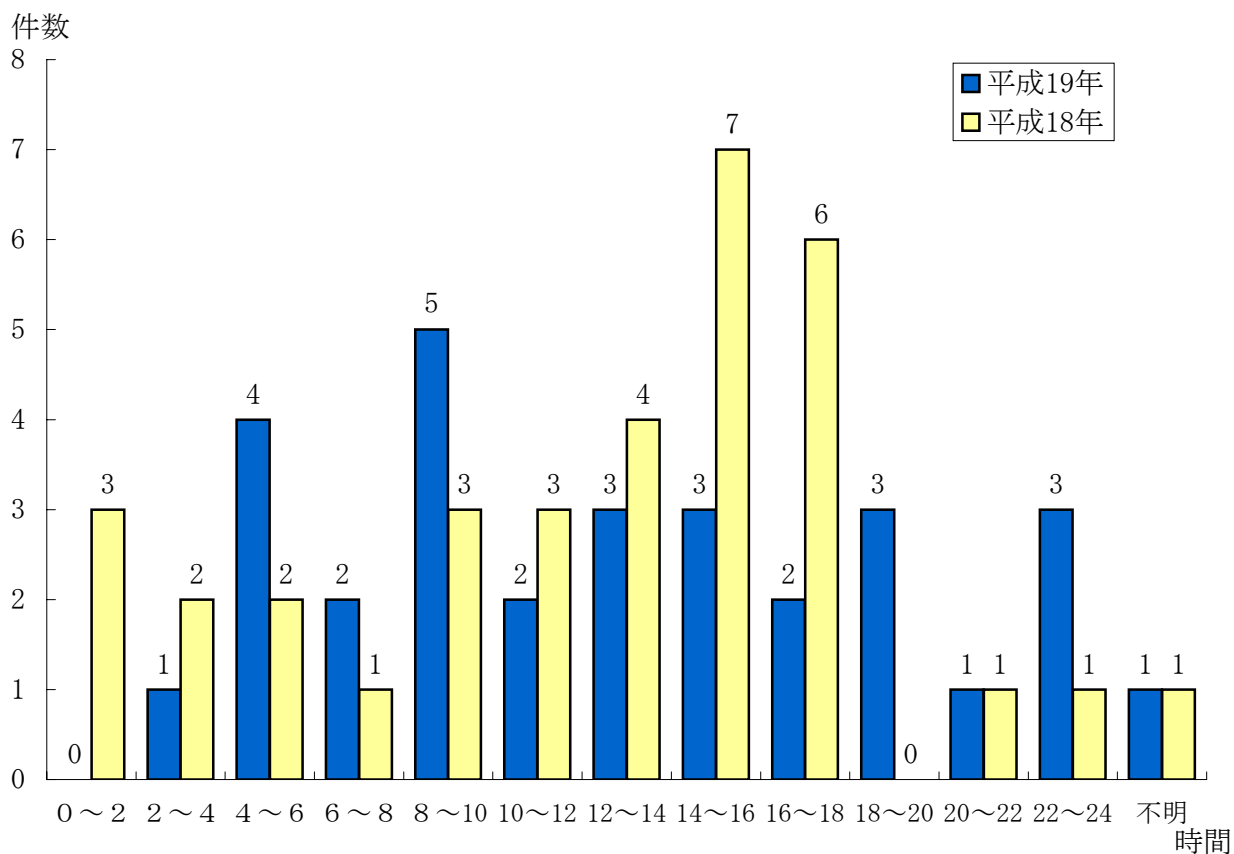
月別火災発生状況



曜 日 別 火 災 発 生 状 況



時 間 別 火 災 発 生 状 況



原因別火災発生状況・損害額

年 別 原因 件数・損害額		平成 19 年		平成18年	
		件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
失火	たばこ（投げ捨て、放置）	7	8,778	6	18,236
	ガスコンロ（放置, 油に引火）	3	33,513	4	524
	風呂かまど（火源落下・構造不良・空焚き）	3	3,203	2	148
	電気配線（絶縁不良・短絡）	2	5,891	2	21,065
	焼却炉（飛び火・接触）	2	322	2	23
	電気器具（伝導過熱・絶縁不良）	1	7,595	1	3
	火遊び（マッチ・ライター）	1	2,053	1	17,047
	交通機関	1	276	2	310
	煙突（貫通部過熱・構造不良）	1	240		
	たき火・ゴミ焼き（飛び火・放置）	1		2	85
	取り灰（不当に捨て置く）	1			
	こたつ（器具不良・伝導過熱）			1	21,043
	その他	1	1,480	1	108
放火・放火の疑い		5	559	8	6,471
調査中		1	4,478	2	176
合 計		30	68,388	34	85,239

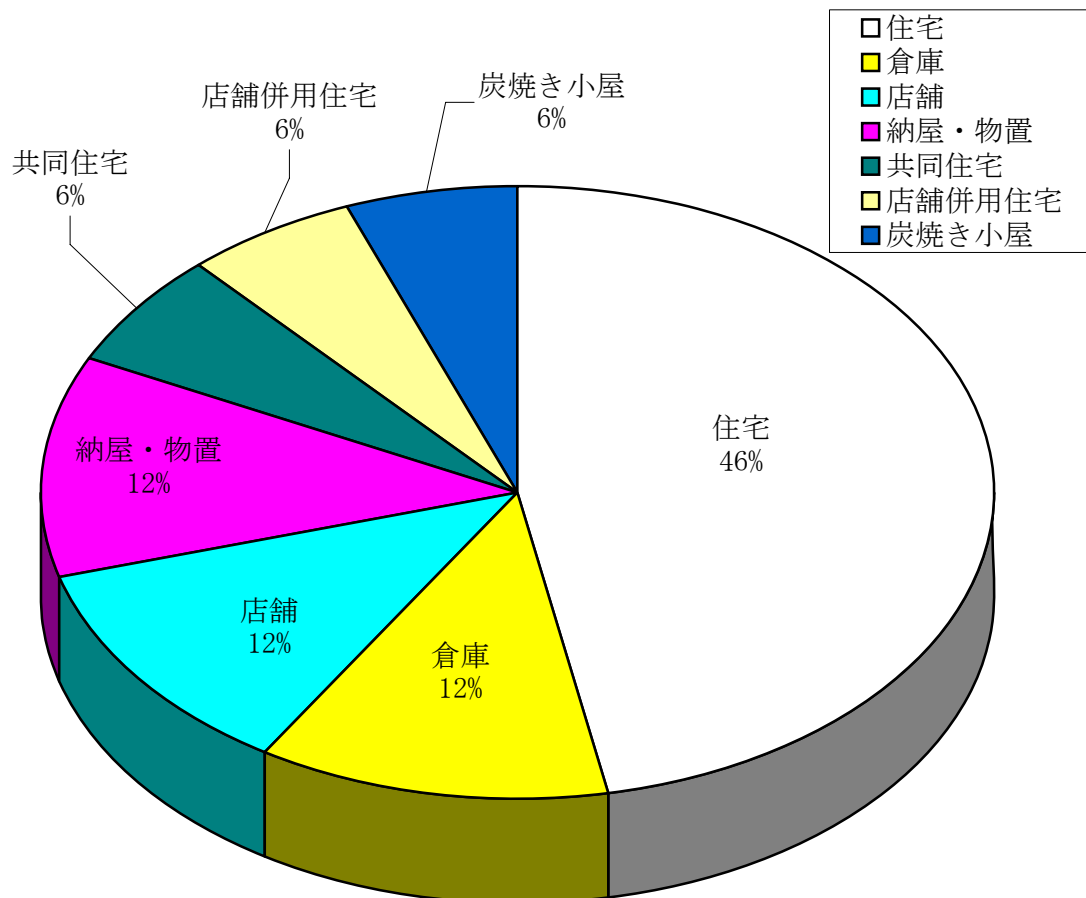
建物用途別火災発生状況（火元）

（平成19年）

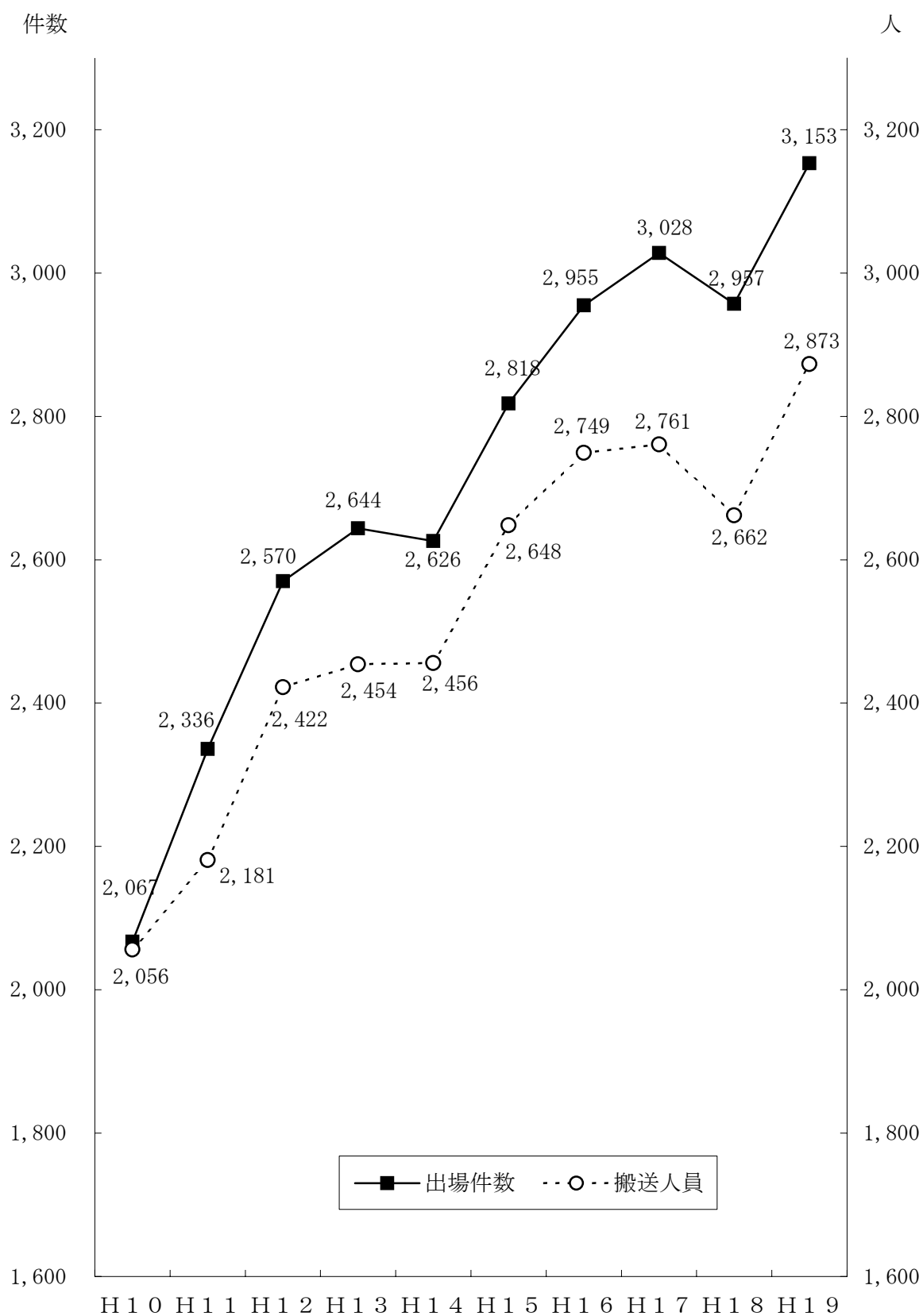
用途別 区 分	出 火 件 数					焼 損 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
住 宅	8	3	1	2	2	496	37,662
倉 庫	2	2				272	3,533
店 舗	2	1		1		202	11,670
納 屋 ・ 物 置	2	2				239	6,201
共 同 住 宅	1				1	0	
店 舗 併 用 住 宅	1				1	0	16
炭 焼 き 小 屋	1	1				45	240
合 計	17	9	1	3	4	1,254	59,322

※件数及び用途別については、火元用途による。

※類焼の損害額については、火元用途に含む。



救急活動の推移



月別事故別活動状況

(平成19年)

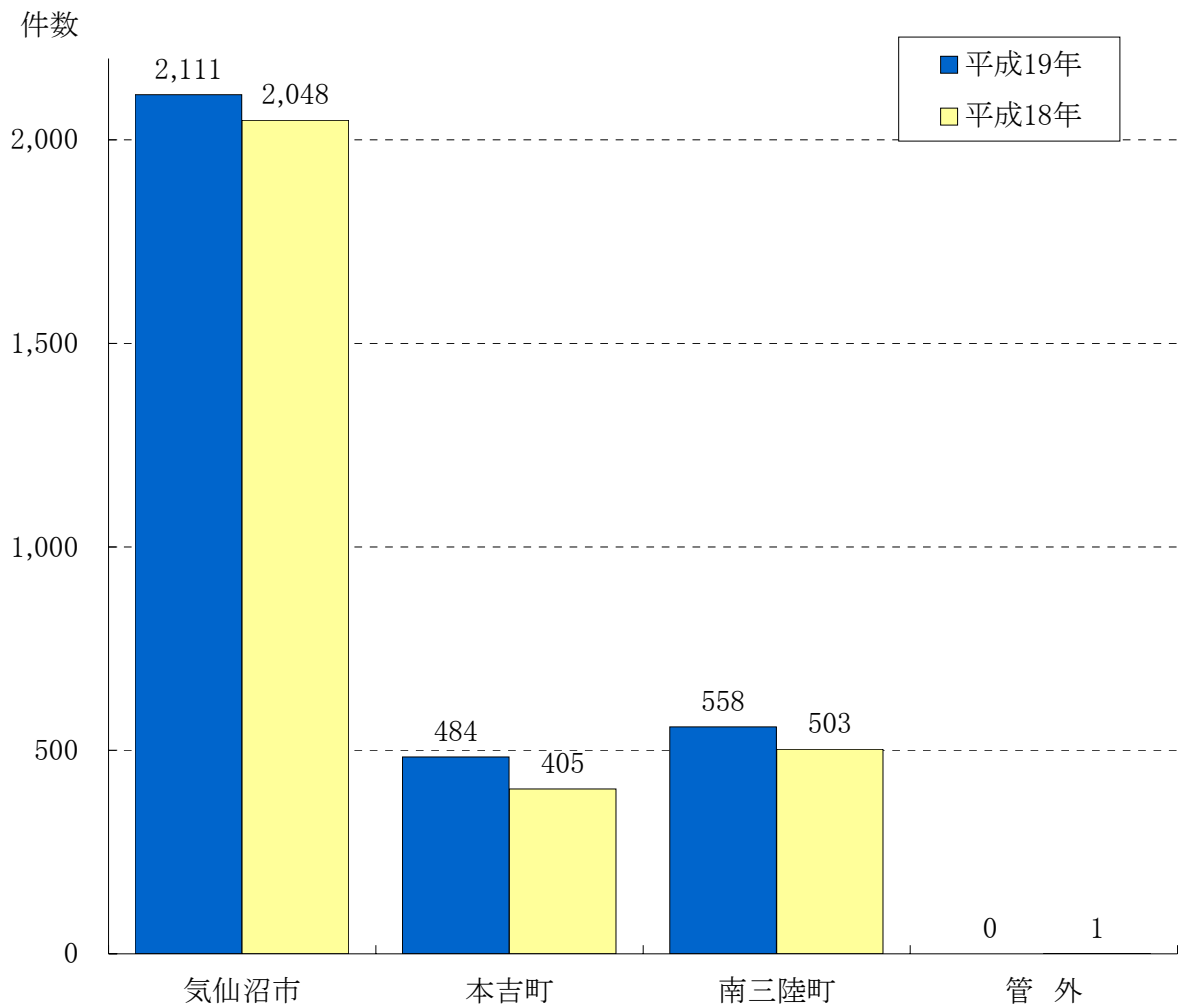
月	事故種別 区分	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
1	出場件数	277				16	3	1	19	2	3	198	35
	搬送人員	249				16	3	1	17	2	2	173	35
2	出場件数	265			1	21	1		30		5	178	29
	搬送人員	231			1	23	1		24		3	149	30
3	出場件数	292			1	21	1	1	30	1	3	206	28
	搬送人員	272			1	28	1	1	24			189	28
4	出場件数	252			1	20	4	1	32	1	4	166	23
	搬送人員	230			1	22	4	1	29	1	4	145	23
5	出場件数	217			1	15	2		27		4	137	31
	搬送人員	188			1	17	2		24		1	115	28
6	出場件数	216				19	3	3	22	1	1	127	40
	搬送人員	195				21	3	3	18	1	1	115	33
7	出場件数	248				17	1	2	30		1	161	36
	搬送人員	231				20	1	2	29		1	145	33
8	出場件数	279			2	25	1	4	38	1	2	171	35
	搬送人員	261			2	25	1	4	34	2	1	156	36
9	出場件数	292			1	24	2	4	36		2	186	37
	搬送人員	261				26	2	4	34		2	163	30
10	出場件数	273				22	6		25		2	186	32
	搬送人員	256				30	6		26		2	161	31
11	出場件数	262	1		2	24	1	2	32		2	167	31
	搬送人員	244			3	28	1	2	28		2	152	28
12	出場件数	280				27	1		30	2	2	192	26
	搬送人員	255				29	1		28	2	2	168	25
合 計	出場件数	3,153	1		9	251	26	18	351	8	31	2,075	383
	搬送人員	2,873			9	285	26	18	315	8	21	1,831	360

市 町 別 事 故 別 活 動 状 況

(平成19年)

市町別			事故種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
気 仙 沼 市	19年	出場件数	2,111	1		3	160	17	11	233	6	23	1,419	238	
		搬送人員	1,841			3	177	17	11	202	6	17	1,193	215	
	18年	出場件数	2,048	2		8	149	25	16	249	6	25	1,387	181	
		搬送人員	1,772	1		3	157	25	15	203	6	22	1,163	177	
本 吉 町	19年	出場件数	484				48	6	1	51	1	2	309	66	
		搬送人員	480				54	6	1	48	1	1	302	67	
	18年	出場件数	405	1			46	5	3	66	3	5	233	43	
		搬送人員	397	1			55	5	3	61	2	4	223	43	
南 三 陸 町	19年	出場件数	558			6	43	3	6	67	1	6	347	79	
		搬送人員	552			6	54	3	6	65	1	3	336	78	
	18年	出場件数	503			3	38	4	2	45		5	339	67	
		搬送人員	493			3	47	4	2	44		5	323	65	
管 外	19年	出場件数													
		搬送人員													
	18年	出場件数	1											1	
		搬送人員													
合 計	19年	出場件数	3,153	1		9	251	26	18	351	8	31	2,075	383	
		搬送人員	2,873			9	285	26	18	315	8	21	1,831	360	
	18年	出場件数	2,957	3		11	233	34	21	360	9	35	1,959	292	
		搬送人員	2,662	2		6	259	34	20	308	8	31	1,709	285	

市 町 別 出 場 件 数



○ 管内市町別出場件数

出場件数 3, 1 5 3 件に占める各市町毎の割合

気 仙 沼 市	2, 1 1 1 件	(6 7 . 0 %)
本 吉 町	4 8 4 件	(1 5 . 3 %)
南 三 陸 町	5 5 8 件	(1 7 . 7 %)

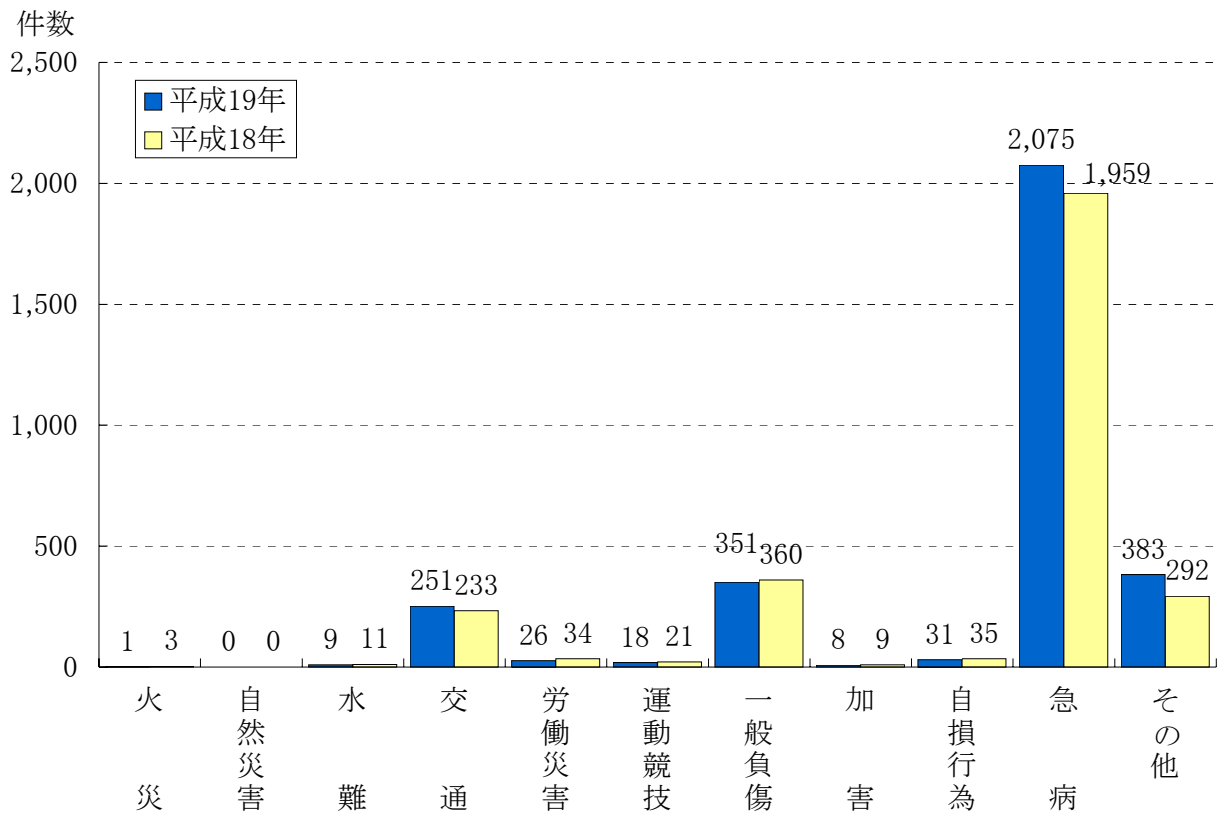
救急隊員が行った応急処置件数

(平成19年)

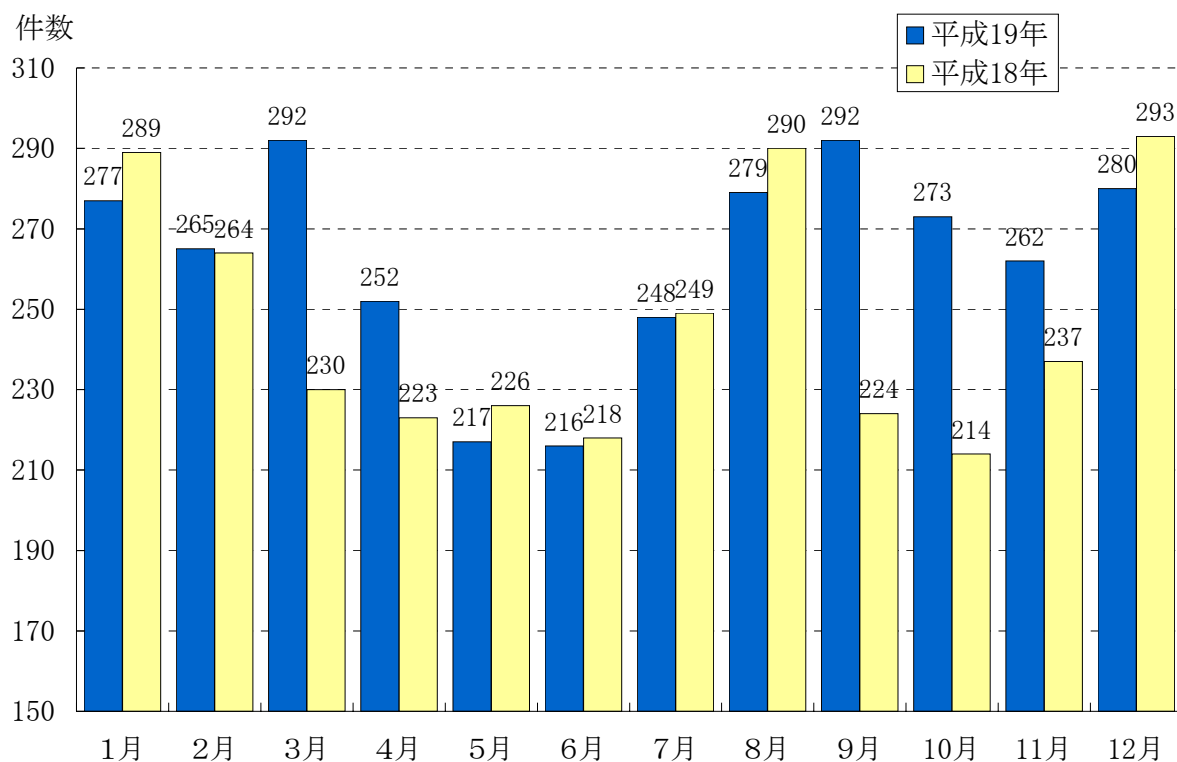
事故種別	応急処置人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	除細動	血圧測定	聴診器	血中酸素	心電図	その他	合計
急病	1,822	18	11	13	87	692	204	310	9	10	1,697	291	1,730	803	775	6,650
交通事故	282	24	155		2	29	3	26	70		265	29	272	14	42	931
一般負傷	312	45	90	1	7	40	14	41	73	1	285	25	297	29	98	1,046
その他	431	10	35	3	12	149	32	61	16	1	392	33	406	124	100	1,374
合計	2,847	97	291	17	108	910	253	438	168	12	2,639	378	2,705	970	1,015	10,001

※ 応急処置は、症状により重複実施する場合があります。

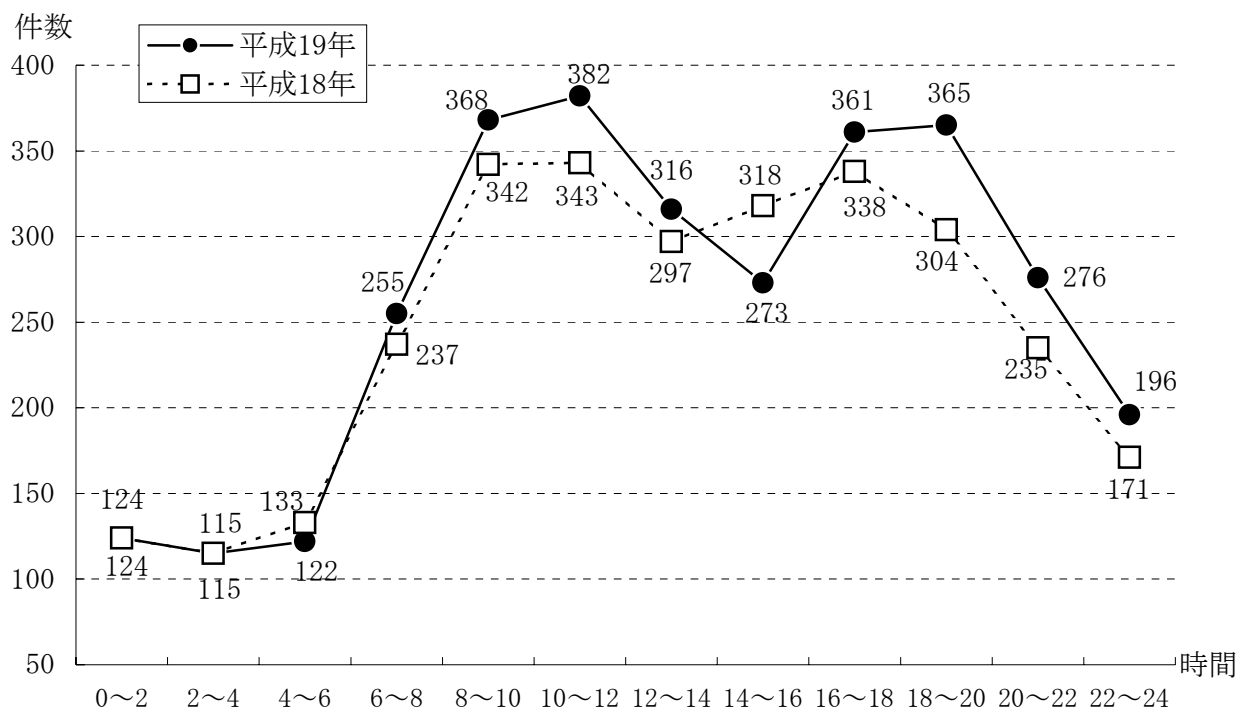
事故種別出場件数



月 別 出 場 件 数



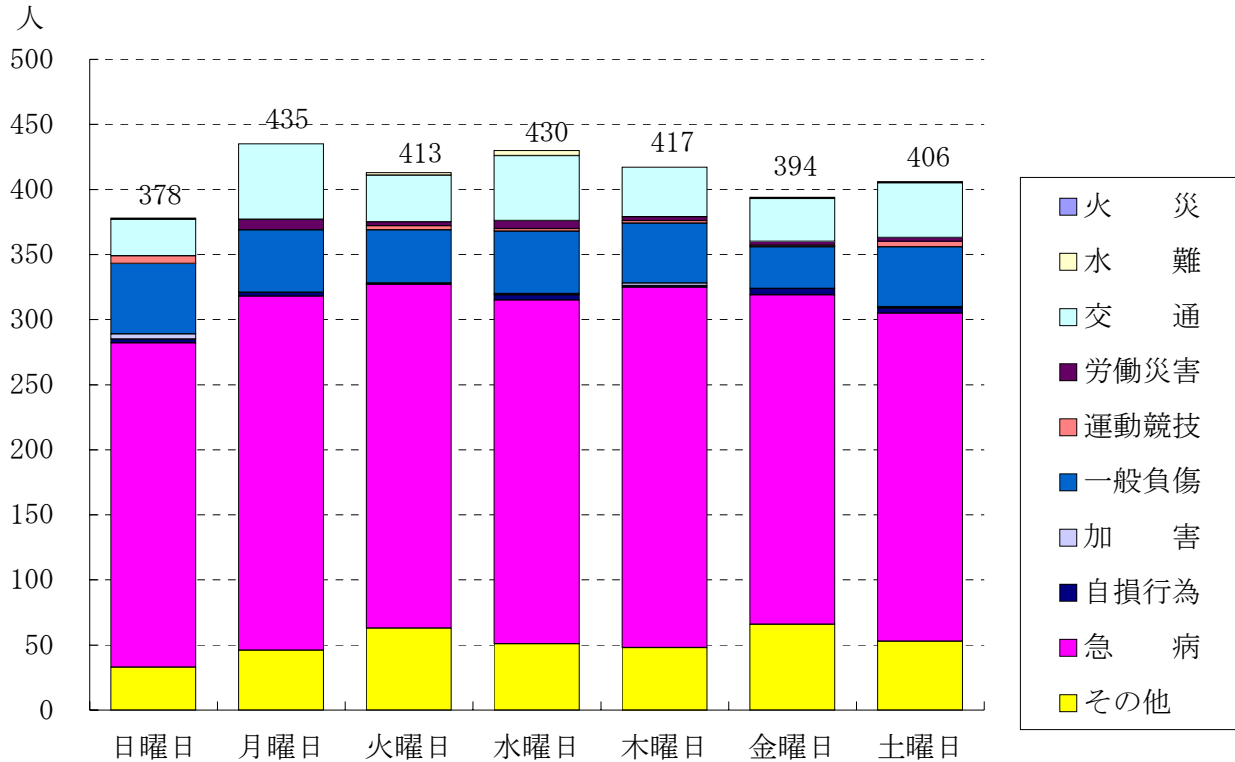
時 間 別 出 場 状 況



曜 日 別 搬 送 人 員

○ 曜日別搬送人員

曜日別搬送人員を比率で見ると、月曜日が一番多く15.1%、次いで水曜日15.0%、以下木曜日14.5%、火曜日14.4%、土曜日14.1%、金曜日13.7%、日曜日13.2%の順となっている。



曜 日 事故種別	計	日	月	火	水	木	金	土
火 災								
自 然 災 害								
水 難	9	1		2	4		1	1
交 通	285	28	58	36	50	38	33	42
労 働 災 害	26		8	3	6	3	3	3
運 動 競 技	18	6		3	2	2	1	4
一 般 負 傷	315	54	48	41	48	46	32	46
加 害	8	4			1	2		1
自 損 行 為	21	3	3	1	4	1	5	4
急 病	1,831	249	272	264	264	277	253	252
そ の 他	360	33	46	63	51	48	66	53
合 計	2,873	378	435	413	430	417	394	406

傷病程度別搬送人員

○ 傷病程度別搬送人員

傷病者の傷病程度を見ると、

救急搬送人員 2, 8 7 3 人のうち、中等症が一番多く 1, 3 5 6 人 (4 7 . 2 %)

軽 症 9 4 6 人 (3 2 . 9 %)

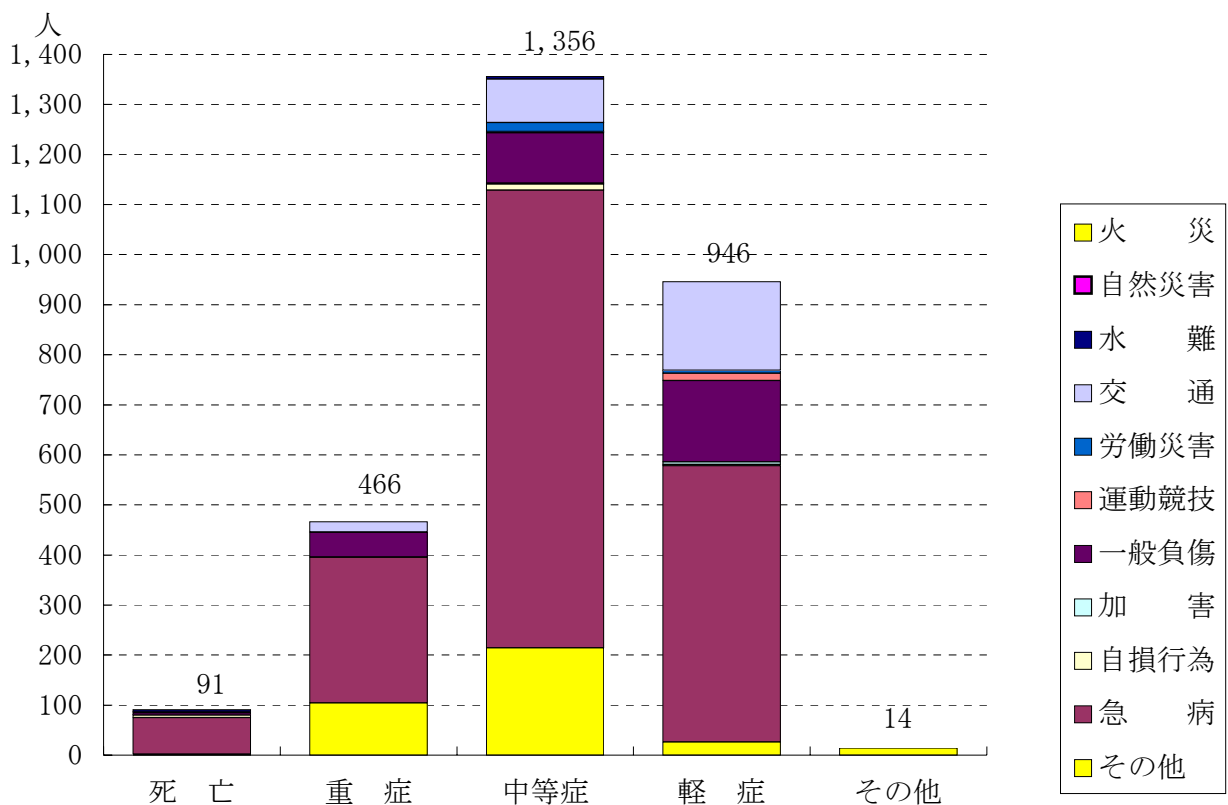
重 症 4 6 6 人 (1 6 . 2 %)

死 亡 9 1 人 (3 . 2 %)

その他 1 4 人 (0 . 5 %)

の順になっている。

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	計
死 亡			4	1	1		4	1	5	73	2	91
重 症				20	1		49		1	291	104	466
中 等 症			5	87	18	3	100	2	12	915	214	1, 356
軽 症				177	6	15	162	5	3	552	26	946
その他											14	14
合 計			9	285	26	18	315	8	21	1, 831	360	2, 873



年 齢 別 搬 送 人 員

○ 年齢別搬送人員

搬送人員 2, 8 7 3 人のうち、

新生児(生後28日以内) 8 人(0.3%)

乳幼児(生後29日～7歳未満) 113 人(3.9%)

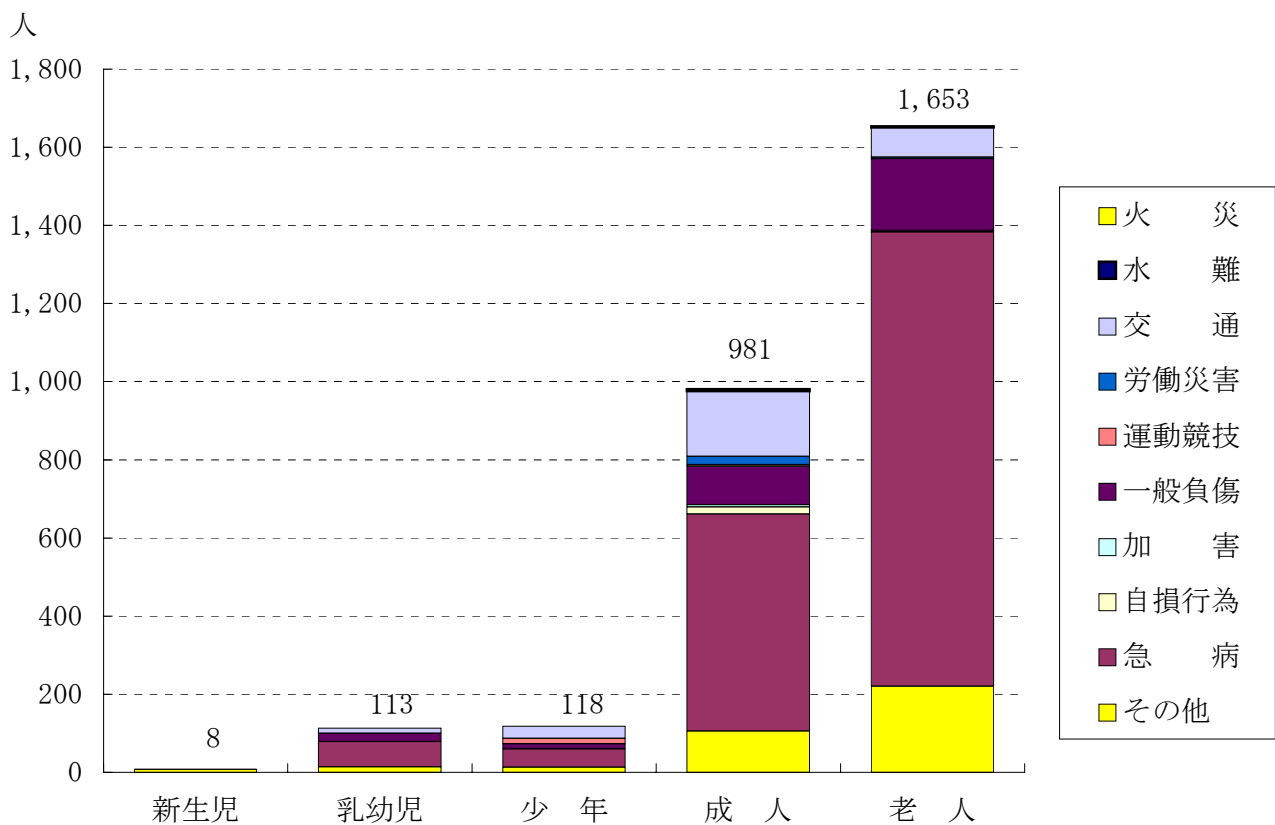
少年(7歳～18歳未満) 118 人(4.1%)

成人(18歳～65歳未満) 981 人(34.2%)

老人(65歳以上) 1,653 人(57.5%)

をそれぞれ搬送した。

事故種別 年 齢 別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
合 計			9	285	26	18	315	8	21	1,831	360	2,873
新 生 児 (生 後 28 日 以 内)										1	7	8
乳 幼 児 (生後29日～7歳未満)				13			21			65	14	113
少 年 (7 歳 ～ 18 歳 未 満)				31		14	12	1		47	13	118
成 人 (18 歳 ～ 65 歳 未 満)			6	166	22	4	98	6	18	555	106	981
老 人 (65 歳 以 上)			3	75	4		184	1	3	1,163	220	1,653



医療機関別搬送人員

(平成19年)

告示別	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
	開設者別		うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外			
救急告示医療機関	国立								8	8	8	8
	公立		1,568	15	241		274	2	325	13	2,408	30
	公的		26	26	7	7	11	11	43	43	87	87
	私 的	病院	23	3	37		20		17	17	97	20
		診療所										
計			1,617	44	285	7	305	13	393	81	2,600	145
その他の医療機関	国立											
	公立		72				4		10	6	86	6
	公的											
	私 的	病院	91	4			2		17		110	4
		診療所	51	4			4		8	6	63	10
計			214	8			10		35	12	259	20
計	国立								8	8	8	8
	公立		1,640	15	241		278	2	335	19	2,494	36
	公的		26	26	7	7	11	11	43	43	87	87
	私 的	病院	114	7	37		22		34	17	207	24
		診療所	51	4			4		8	6	63	10
計			1,831	52	285	7	315	13	428	93	2,859	165
その他の場所	接骨院他											
	その他								14		14	
	計								14		14	
合計			1,831	52	285	7	315	13	442	93	2,873	165

不 搬 送 等 状 況

不 搬 送 理 由	件 数
合 計	346
緊 急 性 な し	10
傷 病 者 な し	4
拒 否	36
酩 酊	16
死 亡	46
現 場 処 置	187
誤 報 ・ い た ず ら	5
そ の 他	42

診療科目別搬送人員

診 療 科 目 別	搬 送 人 員
合 計	2,873
内 科	1,382
外 科	221
整 形 外 科	390
脳 内 ・ 外 科	387
産 婦 人 科	38
小 児 科	99
眼 科	5
耳 鼻 咽 喉 科	22
精 神 神 経 科	28
皮 膚 泌 尿 器 科	38
循 環 器 科	239
そ の 他 の 科	10
そ の 他 の 場 所	14

転送回数別搬送人員

転 送 回 数	搬 送 人 員
合 計	2,873
0 回	2,837
1 回	36
2 回 以 上	0

普通救命講習受講者状況

内 訳 年	普通救命講習 Ⅰ	普通救命講習 Ⅱ	上級救命講習	合 計
平成 19年	1,658	57	0	1,715
平成 18年	1,504	63	0	1,567
平成 17年	2,164		19	2,183
平成 16年	1,787		82	1,869

覚 知 別 出 場 件 数

覚 知 別	出 場 件 数
合 計	3,153
1 1 9 番	2,719
警 察 電 話	42
加 入 電 話	320
駆 け 込 み	54
そ の 他	18

- 普通救命講習Ⅰ：180分講習・心肺蘇生法（AED含む）・止血法等
- 普通救命講習Ⅱ：240分講習・普通救命講習Ⅰ・効果確認及び試験
- 上級救命講習：480分講習・普通救命講習Ⅱ・その他の応急手当

※H18から、普通救命講習がⅠとⅡに区別された。



防災センター



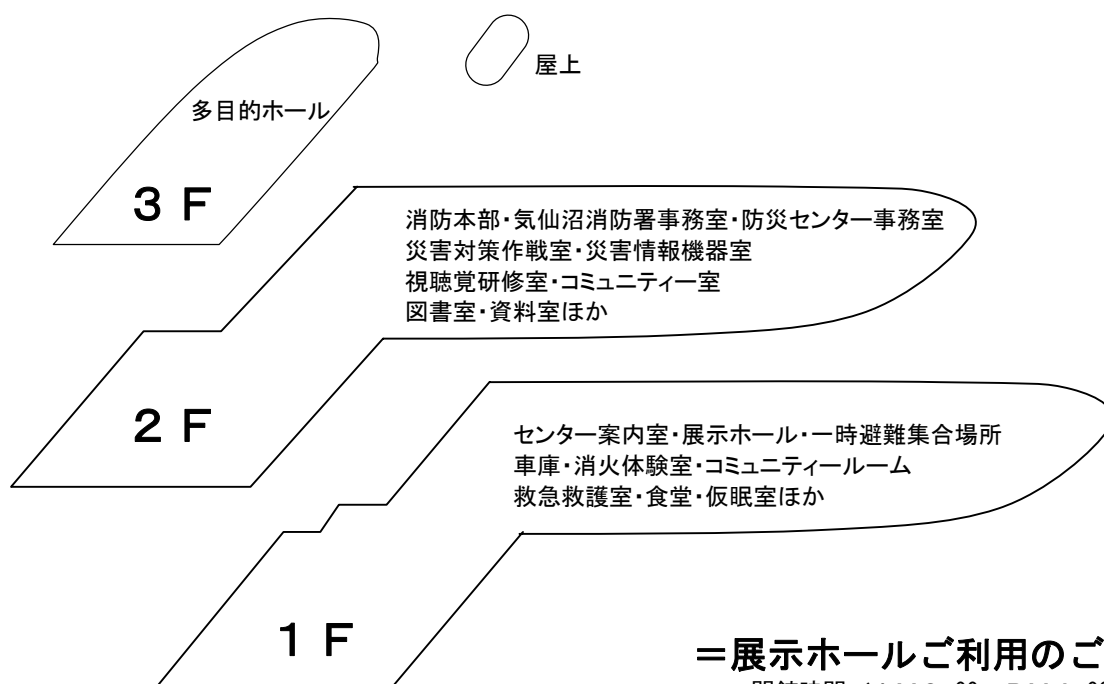
防災センター見学の様子

防災センターの概要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市2町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行う一方、一次避難場所等としても利用されます。

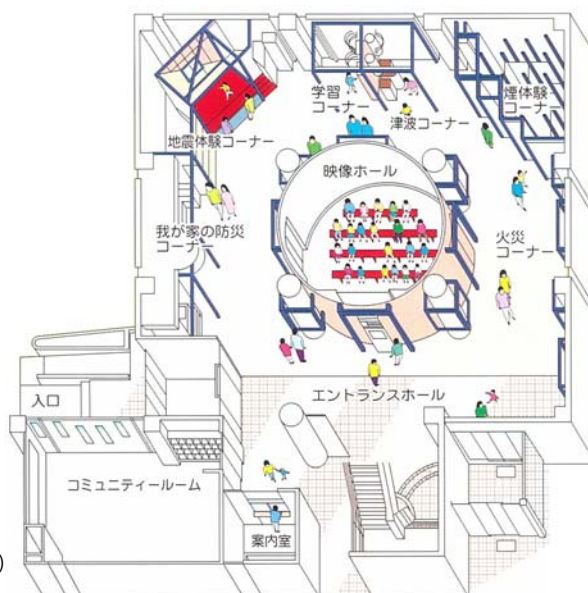


その他、敷地内には、災害時に備えたヘリポートや備蓄倉庫、訓練塔があります。

＝展示ホールご利用のご案内＝

開館時間／AM 9:00～PM 4:00

休館日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



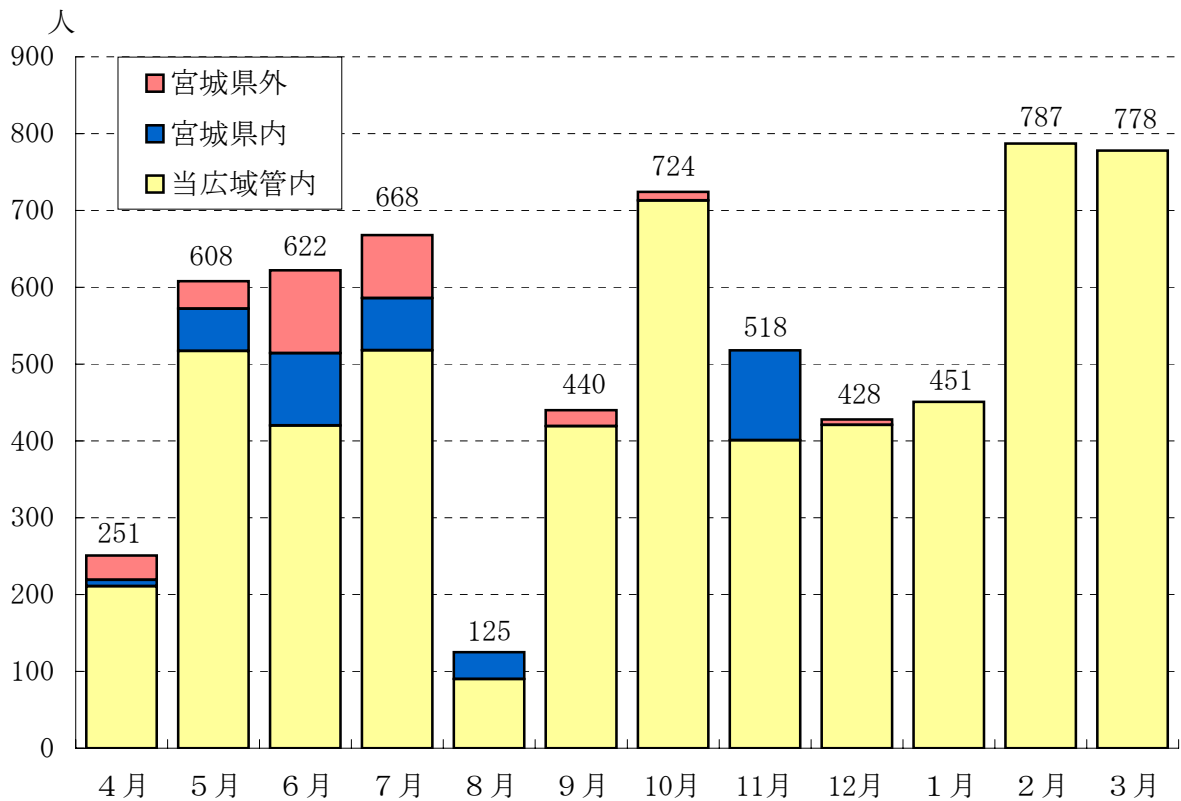
■センター概要

- 敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡
(他に、備蓄倉庫／299.95㎡、訓練塔／299.75㎡)

月・地域別利用状況

(平成19年度)(単位：人)

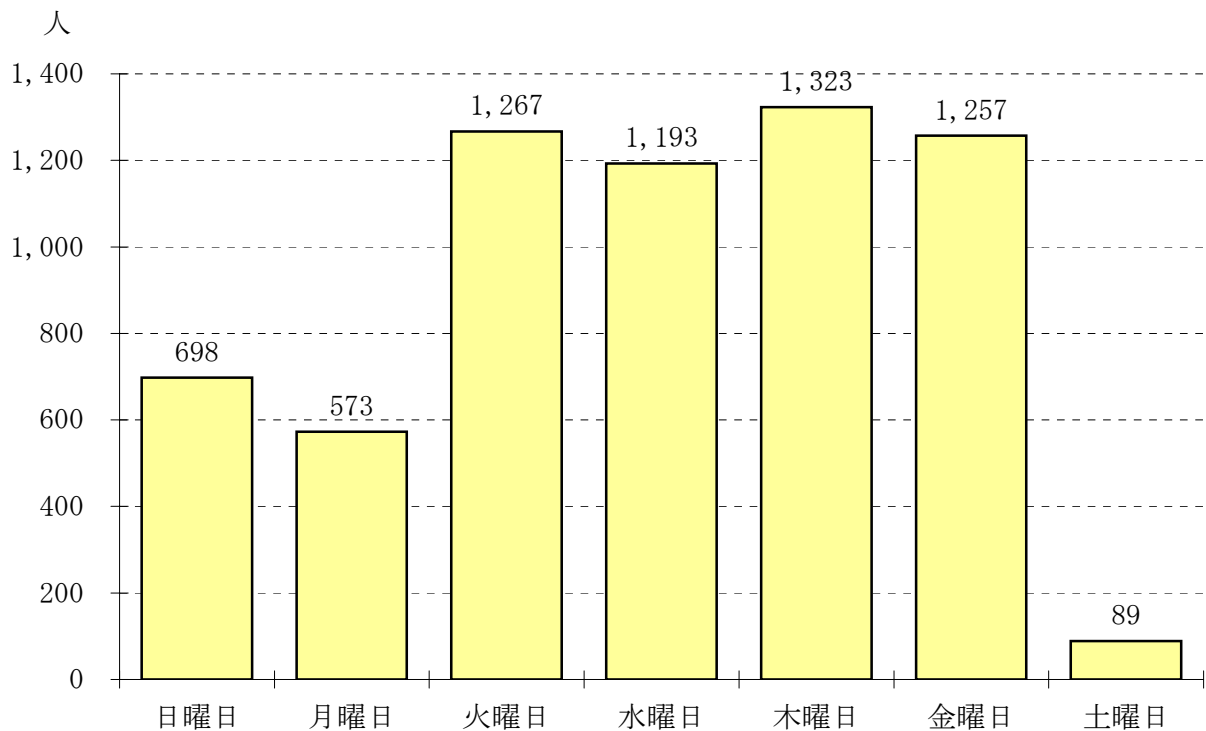
	当 広 域 管 内	宮 城 県 内	宮 城 県 外	合 計
4 月	211	8	32	251
5 月	517	55	36	608
6 月	420	94	108	622
7 月	518	68	82	668
8 月	90	35	0	125
9 月	419	0	21	440
10 月	713	0	11	724
11 月	401	117	0	518
12 月	421	0	7	428
1 月	451	0	0	451
2 月	787	0	0	787
3 月	778	0	0	778
合 計	5,726	377	297	6,400
18年度計	6,254	610	515	7,379
前年度比較	△ 528	△ 233	△ 218	△ 979
開館以来累計	112,960	9,468	12,326	134,754



月・曜日別利用状況

(平成19年度) (単位：人)

	日	月	火	水	木	金	土	合 計
4 月	32	50	30	35	23	81	0	251
5 月	40	53	180	150	121	64	0	608
6 月	0	0	160	61	201	200	0	622
7 月	159	47	177	98	124	26	37	668
8 月	0	0	35	43	12	35	0	125
9 月	36	13	27	183	113	68	0	440
10 月	27	21	215	233	111	113	4	724
11 月	136	78	78	24	122	67	13	518
12 月	7	0	42	93	151	135	0	428
1 月	0	50	95	68	69	134	35	451
2 月	0	25	161	142	276	183	0	787
3 月	261	236	67	63	0	151	0	778
合 計	698	573	1,267	1,193	1,323	1,257	89	6,400
18年度計	862	723	1,737	1,023	1,702	863	469	7,379
前年度比較	△ 164	△ 150	△ 470	170	△ 379	394	△ 380	△ 979
開館以来累計	18,917	12,215	21,123	23,752	25,050	24,471	9,226	134,754



利 用 者 別 状 況

(平成19年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	4	98
少 年 消 防 ク ラ ブ	3	210
婦 人 防 火 ク ラ ブ	6	174
危険物安全協会・防火管理者協会	8	472
消 防 団	8	305
行 政 機 関	80	2,344
自 治 会 ・ 上 記 以 外 の 団 体	85	2,373
救 急 救 命 指 導 講 習	20	373
上 記 以 外	10	51
合 計	224	6,400

主 な 備 蓄 品

(平成20年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	230枚	
布 団	25組	
ポ リ 容 器	100組	
非 常 食	9,956食	乾燥餅 (6,180) 、乾パン (3,776)
応 急 処 置 セ ッ ト	6セット	
担 架	7台	
防 災 ト イ レ	1基	
シ ー ト	45枚	大 (10m×10m) 15、中30
タ オ ル	200枚	
軍 手	6ダース	
メ ガ ホ ン	5個	サイレン付き
防 災 リ ヤ カ ー	4台	ワンタッチ(2)、折りたたみ(1)
災 害 ツ ー ル	1式	救護車担架付(1)

※備蓄品については、年次計画により購入。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五駄鱒43番地2

TEL 0226-22-6688

FAX 0226-22-0119

E-Mail: kmf-so@k-macs.ne.jp